２０２７年度
（令和９年度）

未来教育総合型選抜
〈総合型選抜〉

学生募集要項

武庫川大学
MUKOGAWA UNIVERSITY

武庫川女子大学 Mukogawa Women's University

武庫川大学 MUKOGAWA UNIVERSITY

目　　次

（ページ）

◇　武庫川大学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）について…… 1
◇　受験に関する注意事項・連絡事項…… 2
◇　入学試験要項…… 4
1．趣旨…… 4
2．制度…… 4
3．出願資格…… 4
4．募集学科〔専攻〕・募集人員・試験日 …… 5
◇　日程のフローチャート…… 6
5．出願手続…… 7
(1)　出願期間
(2)　出願書類
(3)　出願書類一覧表
(4)　入学検定料
◇　出願方法について…… 10
◇　書類提出システム（J-Bridge System）登録方法について …… 16
6．Web 受験票について …… 18
7．合格発表…… 19
8．入学検定料の返還について…… 19
9．入学手続…… 20
◇　各学科の定める要項…… 21
日本語日本文学科
歴史文化学科
英語グローバル学科〔英語文化専攻〕
英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕
教育学科
心理学科
社会福祉学科
健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科
生活環境学科
社会情報学科〔社会・メディア専攻〕
社会情報学科〔コンピュータ・AI 専攻〕
食物栄養学科
食創造科学科
演奏学科
応用音楽学科
薬学科
健康生命薬科学科
環境共生学科
経営学科
◇　音楽学部演奏学科実技について…… 45
10. 入学金および学費等納付金…… 48
11. 英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度…… 50
12. アメリカ分校のための教育ローン制度…… 51
13. 褒賞・奨学金制度…… 52
14. 学寮…… 54
◇　交通アクセス…… 55
◇　アドミッション・ポリシー（各学科の入学者受入れの方針）…… 57

個人情報の取り扱いについて

武庫川大学では、本学志願時にいただいた個人情報については、Web 受験票配信、入学試験実施、合否結果発表及び手続き書類の送付、入学手続時の学籍基礎データ作成業務、入学前教育関係業務、出願・受験・進学に関するアンケートの実施のほか、個人を特定できない方法・形式による統計資料の作成のために限り利用します。

その際、当該個人情報の漏えい、流出、不正利用などがないよう、「個人情報の保護に関する法律」及び本学関係規程（プライバシーポリシー等）に基づき、遺漏のなきよう管理します。

武庫川大学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）について

武庫川大学は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”をそなえた自ら考え動く人材を育成するため、以下の知識・姿勢・行動を人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」として定めています。

MUKOGAWA COMPASS　　－自ら考え、動く－

【知識】1 多様化・複雑化する社会を理解する力
　　2“生きること”につながる専門性
【姿勢】3 自他を尊重する姿勢
　　4 失敗を恐れず挑戦する姿勢
　　5 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢
【行動】6 論理的に考え伝える力
　　7 新たな価値を創造する力
　　8 多様な人々と協働する力

MUKOGAWA COMPASS

本学では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針 ）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。

【知識】社会を理解し、入学を希望する学部･学科における専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
【姿勢】自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
【行動】自ら考え表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。

そのため、本学では学科試験、書類審査、面接、実技、小論文などの多様な方法を活用して、入学希望者の知識や意欲を多面的かつ公正に評価します。

※　令和９年度の各学科アドミッション･ポリシーは P.57 をご確認ください。なお、令和８年度のディプロマ･ポリシー、カリキュラム・ポリシーは本学ホームページでご確認ください。

2027 年度入学者選抜（武庫川大学）

学　部	学科・専攻	一般選抜（本学独自試験）	一般選抜（共通テスト利用）	公募制推薦入試	未来教育総合型選抜	指定校推薦入試	スポーツ推薦入試	演奏奨学生入試	附属高校推薦入試
文学部	日本語日本文学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	歴史文化学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	英語グローバル学科〔英語文化専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
	英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
教育学部	教育学科	○	○	○	○	○	－	－	○
心理・社会福祉学部	心理学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	社会福祉学科	○	○	○	○	○	－	－	○
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	○	○	○	○	○	○	－	○
	スポーツマネジメント学科	○	○	○	○	○	○	－	○
生活環境学部	生活環境学科	○	○	○	○	○	－	－	○
社会情報学部	社会情報学科〔社会・メディア専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
	社会情報学科〔コンピュータ・AI専攻〕	○	○	○	○	○	○	－	○
食物栄養科学部	食物栄養学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	食創造科学科	○	○	○	○	○	－	－	○
建築学部	建築学科	○	○	○	－	○	－	－	○
	景観建築学科	○	○	○	－	○	－	－	○
音楽学部	演奏学科	○	－	○	○	○	○	○（声楽・ピアノのみ）	○
	応用音楽学科	○	－	○	○	○	○	－	○
薬学部	薬学科	○	○	○	○	○	－	－	○
	健康生命薬科学科	○	○	○	○	○	－	－	○
環境共生学部	環境共生学科	○	○	○	○	○	○	－	○
看護学部	看護学科	○	○	○	－	○	－	－	○
経営学部	経営学科	○	○	○	○	○	○	－	○

※本学生募集要項は、未来教育総合型選抜について詳細を記載します。その他の入学試験についての詳細は、それぞれ独自の学生募集要項に記載します。

受験に関する注意事項・連絡事項（受験前に必ずお読みください）

1．試験場・試験室に関するお知らせおよび注意事項

⑴　第二次選考の Web 受験票に記載の集合時間にお越しください。（Web 受験票配信日については P.18「6．Web 受験票について」を参照）
⑵　すべての試験場において、スリッパなどの上履きは不要です。
⑶　試験場の下見は、兵庫〔本学（西宮）〕試験場の各キャンパス敷地内であれば可能です。ただし、建物の中や教室に入ることはできません。
⑷　試験室には時計がありません。入学試験当日は各自で計時機能のみの時計を持参してください。なお、時計の貸し出しは行いません。
⑸　付添い者は試験室のある建物に入ることはできません。
⑹　本学の周辺を含め、付近は駐車禁止となっていますので、自動車による来学はできません。
⑺　試験場・試験室に所持品を忘れたり紛失した場合は、本学アドミッションセンターにお問い合わせください。
　本学アドミッションセンターで預かる遺失物については、一定期間保管した後、処分します。
⑻　試験当日、試験場周辺や最寄り駅で、大学関係者等を装い合否を受験生に連絡するという名目で、電話番号など個人情報を記入させ金銭を要求する者がいますが、本学とは一切関係ありません。これらの事例で発生したトラブルには、本学では責任を負いませんので、十分ご注意ください。
⑼　第二次選考試験日は昼食が必要になる可能性があります。昼食の有無については2026年10月 6 日（火）12:00（予定）に本学受験生サイトの Topics に掲載します。

2．受験上の注意

⑴　受験票は、試験当日必ず持参してください。
⑵　試験開始時刻に遅れた者は、受験を許可しません。ただし、試験会場周辺の公共交通機関の乱れにより遅れ（バス、車の渋滞は除く）が生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。なお、このことに伴う受験生の費用負担、その他個人的損害について、本学はその責任を負いません。
⑶　次のことをすると「不正行為」となる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じ、それ以後の受験はできなくなります。不正行為を行った受験生は、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。なお、入学検定料は返還しません。
　①志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること
　②試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること
　③試験場において試験監督者の指示に従わないこと
⑷　試験時間の途中で退室することは、体調不良の場合を除き、認めません。なお、救護室での受験はできません。

3．受験環境について

　入学試験の実施に際し、極力静穏な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような場合があることをあらかじめご了承ください。
⑴　生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音）に対して、特別な対応はしません。
　生活騒音の例……自動車・バイク・鉄道・航空機の音、通過する緊急車両のサイレン、工事の音、風音・雨音・雷鳴、イベントや選挙のアナウンス、試験室内の空調や照明などが発する音、動物の鳴き声、他の受験生のせき・くしゃみ・鼻をすする音
⑵　試験時間中に携帯電話や時計の音・振動などが発生し、発生源と思われるカバンなどを持ち主の同意なく、試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで入試本部で保管することがあります。
⑶　試験時間中、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音などに対する申し出には応じられません。
⑷　試験室の設備（机、椅子、空調、照明等）の違いなどは、合否判定の際、考慮しません。

4．不測の事態への対応について

　台風、地震、大雪等の自然災害、感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルスなど）の流行、その他不可抗力により入学試験実施に影響を及ぼすような事態が生じた際は、対応措置を本学ホームページで告知します。

URL　https://www.mukogawa-u.ac.jp/

不測の事態が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、休憩時間の調整、最終終了時刻の変更、試験や合格発表の延期等の措置を取ることがあります。ただし、これらの措置によって生じた受験生の費用負担、その他個人的損害について、本学はその責任を負いません。

5．感染症に罹患した受験生への対応について

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルスなど）に罹患し治癒していない場合は、その感染症が他の受験生や監督者に拡がる恐れがありますので、入学試験の受験をご遠慮いただくことをお願いしております。感染拡大防止の観点から入学試験当日の別室受験の対応は行いません。また、別日程での追試験は行いません。

なお、感染症拡大への対応措置として、感染症罹患のために本学入学試験を欠席する場合、入学検定料返還の対応を行います。以下の通り手続きを行ってください。

【感染症に罹患された場合の入学検定料返還申請について】

⑴　対象者

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルスなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席された受験生

⑵　申請方法

①以下の通り本学アドミッションセンターへ電話してください。

ア　受 付 日：第二次選考入学試験日当日まで

イ　受付時間：９時00分～ 17時00分

ウ　電話番号：0798-45-3500

※申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱い、入学検定料の返還対応はいたしません。

②電話による申請受付後、以下の書類を提出いただきます。

ア　感染症罹患による入学試験欠席対応申請書（本学指定様式）

※電話による申請受付後、本学アドミッションセンターよりお送りします。

イ　医療機関の診断書　以下の内容が記載されているもの

病　　名：法令で出席停止が定められている感染症名

加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

※医療機関の診断書の提出ができない場合は、本学アドミッションセンターにご相談ください。

6．受験および入学後に特別な配慮が必要な場合について

病気・負傷や障害等のために、受験時に配慮を必要とする場合は、2026年８月３日（月）までに、本学アドミッションセンター（0798-45-3500）に申し出てください。また、出願後の不慮の事故等による負傷や急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急本学アドミッションセンターに申し出てください。

申請に基づいて病気・負傷や障害等の状況に応じた配慮を行いますが、すべてのご希望に沿えない場合もありますので予めご了承ください。

心身の病気や障害のため、入学後の修学支援についての相談を希望される方は、学生部学生課　学生サポート室までなるべく早めにご連絡ください。

電話：（0798）45-3794　平日９～ 17時（土・日・祝　閉室）　メール：gaksapo@mukogawa-u.ac.jp

7．公募制推薦入試との併願について

未来教育総合型選抜は専願制の入試ですが、本学の公募制推薦入試（前期）・（後期）との併願が可能です。ただし、未来教育総合型選抜第二次選考に合格された場合は、公募制推薦入試（前期）・（後期）分の入学検定料は返還対象※となり、公募制推薦入試（前期）・（後期）の受験を認めません。また、公募制推薦入試（前期）・（後期）を受験されても、合否判定対象外となります。

※ただし、所定の手続きが必要です。詳細は P.19をご確認ください。

8．「こども性暴力防止法」の施行に伴う学校等における実習および児童等と接する諸活動について

「こども性暴力防止法」（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行（※1）により、こどもへの教育・保育などを行う事業者に対して、教員や教育保育などの従事者による児童等（※2）への性暴力を防ぐための取組が求められます。

これにより、実習や児童等と接する諸活動を行う学生のみなさんにも性犯罪前科の有無の確認を求められる場合がありますので、以下の内容を十分にご理解いただいたうえで、出願（入学）をご検討ください。

※1 令和8年12月25日の施行が予定されています。
※2 児童等とは、幼児、小学生、中学生、高校生等を指します。

⑴ 犯罪事実確認について
法の施行日以降、学校等における実習及び児童等と接する諸活動を行う前に、実習施設（対象事業者）から法に基づく「犯罪事実確認」が行われる可能性があります。
特定性犯罪前科が確認された場合、実習および諸活動を行うことができません。

⑵ 入学後の対応について
必要に応じて、学校等における実習および児童等と接する諸活動に参加する前に、法に基づく「犯罪事実確認」の実施等についての「同意書」、特定性犯罪前科がない旨の「誓約書」の提出を求めますので、ご承知おきください。

入学試験要項

1．趣　　旨

教科・科目試験の成績に留まらない受験生の能力を、学科のアドミッション・ポリシーおよび求める人物像に照らして多面的に評価することにより、主体的な学習意欲に優れた学生を積極的に受入れるため、未来教育総合型選抜を実施します。

2．制　　度

専願制（合格すれば必ず入学することを前提とする）の入学試験制度です。
※本学の公募制推薦入試は併願可。「未来教育総合型選抜」に合格された場合は、本学の公募制推薦入試の検定料を返還します（詳細はP.19）。

3．出願資格

次の１～３のいずれかに該当する者。

1　高等学校もしくは中等教育学校を卒業、または2027年３月卒業見込みの者。
2　通常の課程による12年の学校教育を修了、または2027年３月修了見込みの者。
3　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年３月31日までにこれに該当する見込みの者（具体的には以下に掲げる（1）～（6）のいずれか）。または韓国高等学校あるいは朝鮮高級学校を修了した者および2027年３月修了見込みの者。

（1）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
（2）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者。
（3）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であること、かつその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2027年３月31日までに修了見込みの者。
（4）文部科学大臣の指定した者。
（5）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者および2027年３月31日までに合格見込みの者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）で2027年３月31日までに18歳に達する者。
（6）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2027年３月31日までに18歳に達する者。なお、個別の入学資格審査によって出願資格の認定を希望する者は、出願開始日の1ヶ月前までにアドミッションセンターに連絡すること。

4. 募集学科〔専攻〕・募集人員・試験日

<table>
<tr><th rowspan="2">学　部</th><th rowspan="2">学　科〔専攻〕</th><th rowspan="2">募集人員※</th><th rowspan="2">第一次選考
書類審査
結果発表日</th><th colspan="3">第二次選考</th><th rowspan="2">合格
発表日</th></tr>
<tr><th>試験日</th><th>集合時間
・場所</th><th>試験開始
時刻</th></tr>
<tr><td rowspan="4">文学部</td><td>日本語日本文学科</td><td>10名</td><td rowspan="23">2026年
10月３日
（土）</td><td rowspan="23">2026年
10月11日
（日）</td><td rowspan="21">９時30分
中央キャンパス
公江記念講堂</td><td rowspan="23">10時00分</td><td rowspan="23">2026年
11月１日
（日）</td></tr>
<tr><td>歴史文化学科</td><td>７名</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科〔英語文化専攻〕</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>教育学科</td><td>20名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理・
社会福祉学部</td><td>心理学科</td><td>５名</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td><td>７名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">健康・
スポーツ科学部</td><td>健康・スポーツ科学科</td><td>20名</td></tr>
<tr><td>スポーツマネジメント学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>生活環境学部</td><td>生活環境学科</td><td>８名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会情報学部</td><td>社会情報学科〔社会・メディア専攻〕</td><td>７名</td></tr>
<tr><td>社会情報学科〔コンピュータ・AI専攻〕</td><td>６名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">食物栄養科学部</td><td>食物栄養学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td>食創造科学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音楽学部</td><td>演奏学科</td><td>５名</td></tr>
<tr><td>応用音楽学科</td><td>４名</td></tr>
<tr><td>経営学部</td><td>経営学科</td><td>10名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬学部</td><td>薬学科</td><td>３名</td><td rowspan="2">９時30分
浜甲子園キャンパス
薬学研究管理棟
１階会議室</td></tr>
<tr><td>健康生命薬科学科</td><td>６名</td></tr>
<tr><td>環境共生学部</td><td>環境共生学科</td><td>10名</td><td>９時30分
浜甲子園キャンパス
環境共生教育研究棟
（P5）２階215 PJ ラボ</td></tr>
</table>

※得点状況等により、募集人員が充足しない場合があります。

日程のフローチャート

学生募集要項を熟読し、出願の準備を進めてください。

〔注意〕学科により出願時の提出書類は異なります。必ず「各学科の定める要項」（P.21 ～）を確認してください。

事前準備	「各学科の定める要項」（P.21 ～）を確認して準備してください。
▼	▼
Web 出願登録	2026年 9 月 1 日（火）9：00 ～ 2026年 9 月 8 日（火）23：59 〔URL〕https://sak-sak.net/portalapp/mukogawa
▼	▼
入学検定料納入	2026年 9 月 1 日（火）9：00 ～ 2026年 9 月 8 日（火）23：59 〔URL〕https://sak-sak.net/portalapp/mukogawa
▼	▼
書類提出システム （J-Bridge System）登録	2026年 9 月 1 日（火）9：00 ～ 2026年 9 月 8 日（火）23：59 J-Bridge System の初期登録は入学検定料納入後、 P.16 STEP 3 の出願状況詳細画面から進むことができます。
▼	▼
書類の郵送	2026年 9 月 1 日（火）～ 2026年 9 月 8 日（火）消印有効
▼	▼
第一次選考　Web 受験票配信日	2026年 9 月24日（木）午後
▼	▼
第一次選考　書類審査結果発表日	2026年10月 3 日（土）
▼	▼
第二次選考　Web 受験票配信日	2026年10月 6 日（火）午後
▼	▼
第二次選考　試験日	2026年10月11日（日）
▼	▼
第二次選考　合格発表日	2026年11月 1 日（日）
▼	▼
入学金（入学申込金）および 学費等納付金納入	2026年11月 1 日（日）～ 2026年12月11日（金）〔厳守〕

昼食の有無については2026年10月6日（火）に、本学受験生サイトのTopicsに掲載します。

５．出願手続

(1)　出願期間

出願期間内に必ず手続きを完了してください。

（出願登録・入金・出願書類提出）受付開始	（出願登録・入金・出願書類提出）締切
2026年９月１日（火）	2026年９月８日（火）※

※出願書類の提出は締切日までの消印有効です。

(2)　出願書類

2026年９月８日（火）までに書類提出システム（J-Bridge System）にアクセスし、所定の入力や出願書類のアップロードをしてください。J-Bridge System の利用マニュアルは本学受験生サイトの未来教育総合型選抜特設ページで確認してください。当該システムより印刷した入力内容を控えとして保管しておいてください。

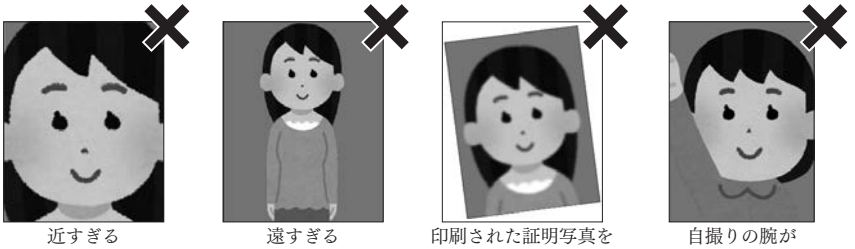
出願確認票・調査書（厳封されたもの）等・音楽学部演奏学科の実技試験申告書・伴奏用楽譜に関しては、郵送での提出のみとします。P.15 STEP.24の出願封筒用宛名シートを各自で用意した角２封筒に貼り付け、提出書類を封入し、出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願書類提出締切日消印有効）。調査書等の提出に関してはP. 8 を参照してください。

・出願書類の虚偽記載について
出願書類の記載事項が事実と異なる場合や不正がある場合は、合格（入学）を取り消します。

出願書類の詳細は次ページをご確認ください。

出願書類の詳細

<table>
<tr><td rowspan="3">全員提出</td><td>① 出願確認票（大学提出用）</td><td colspan="2">インターネット上で出願登録し、入学検定料納入後、A4サイズカラーで印刷すること。P.10 ～ P.15参照（本人控はお手元で保管してください）。</td></tr>
<tr><td>② 調査書等</td><td colspan="2">次の(a)、(b)、(c)、(d)、(e)のいずれか、該当する出願資格に応じた書類を提出してください。
(a) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業（見込み）者
韓国高等学校あるいは朝鮮高等学校を修了（見込み）者
通常の課程による12年の学校教育を修了（見込み）者
• 文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前３ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
(b) 外国における12年の課程修了（見込み）者
•「修了（見込み）証明書」および「成績証明書」の原本
※原本を提出できない場合は、原本から正しく複製されたもの（Certified True Copy）であることを卒業した学校、または大使館等公的機関が証明したものを提出してください。
※日本と外国の両方に在籍した者は、日本の高等学校もしくは中等教育学校の「調査書」または「成績証明書」も提出してください。
(c) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定含む）合格者
•「合格証明書」または「合格成績証明書」どちらかのコピー
(d) 単位修得による高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者（次の(i)(ii)のいずれか）
(i) 高等学校卒業程度認定試験の「合格見込成績証明書」
(ii) 高等学校卒業程度認定試験の「科目合格通知書」をコピーしたものおよび「単位（科目）修得見込証明書」（合格に必要な残りの試験科目分）
※免除科目がある場合は、最終高等学校の「調査書」または「成績証明書」を添付してください。
(e) 高等学校等を卒業後５年以上経過する等の理由により、高等学校等による調査書の発行が不可能な者
•「卒業証明書」（厳封）</td></tr>
<tr><td>③ 写真データ（カラー）</td><td colspan="2">(ｱ) カラー写真データ（JPEG）をインターネット出願時にアップロードしてください（出願前３ヶ月以内に撮影したもの）。印刷した写真の提出は不要です。
(ｲ) 写真は入学後、学生証に使用しますので、できるだけ私服を着用してください。（制服着用の写真を高等学校から推奨されている場合、制服着用の写真でも結構です。）

正しい見本
• 試験日当日に本人確認のために使用しますので、実際の容姿と著しく異なるような加工等はしないでください。
試験当日の本人確認が行えず、試験に不利益をもたらす可能性があります。
• 以下の【不適当な写真例】をご確認の上、ご用意ください。
【不適当な写真例】
①近すぎる（顔の割合が大きすぎる）、あるいは遠すぎる（顔の割合が小さすぎる）もの
②自撮りの腕が写りこんでいるもの
③加工アプリで撮影したもの、あるいは輪郭を削る、目を大きくする、美白処理、顔パーツやほくろ、しわなどを修正したりする等の加工を行ったもの
④印刷された証明写真を撮影したもの
⑤カラーコンタクト（ディファイン含む）を装着しているもの
⑥照明が眼鏡に反射したもの
⑦色付きの眼鏡やサングラスを装着しているもの
不適当な写真の一例（図）
 
近すぎる（顔の割合が大きすぎる）
遠すぎる（顔の割合が小さすぎる）
印刷された証明写真を撮影している
自撮りの腕が写りこんでいる</td></tr>
<tr><td>対象者のみ提出</td><td>演奏学科のみ</td><td>④実技試験申告書（本学所定用紙）</td><td>P.47参照。
(ｱ) 音楽学部演奏学科のみ必要です。
(ｲ) 必要事項を記入し、所定の位置にカラー写真（縦４㎝×横３㎝）を貼ってください。
• 上記③の写真データとは別に、印刷された写真の貼り付けが必要です。</td></tr>
</table>

健康・スポーツ科学部に出願される方へ

・学部の授業には実技・実習科目が数多く設定されています。
・入学後の授業で実技・実習が「必修」として課せられるため、入学時に「健康診断書」を提出していただきます。

⑶　出願書類一覧表　必ず、P.21 ～ P.44の『各学科の定める要項』を確認してください。

学　　部	学科〔専攻〕	書類提出システム（J-Bridge System）で提出	郵送で提出
文学部	日本語日本文学科	自己推薦書／活動報告書／活動内容を証明する参考資料	出願確認票 調査書【厳封】等 〔演奏学科のみ〕実技試験申告書等 詳細は P. 8 を参照
	歴史文化学科	自己推薦書／活動報告書／活動内容を証明する参考資料（任意）	
	英語グローバル学科〔英語文化専攻〕	志望理由書／自己推薦書	
	英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	エッセイ	
教育学部	教育学科	自己推薦書／活動報告書／活動内容を証明する参考資料	
心理・社会福祉学部	心理学科	志望理由書	
	社会福祉学科	レポート	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	自己推薦書／アピール内容を証明する参考資料（任意）／志望理由書	
	スポーツマネジメント学科	活動報告書／活動内容を証明する参考資料（任意）／入学後の計画書	
生活環境学部	生活環境学科	志望理由書／自己推薦書／活動内容を証明する参考資料	
社会情報学部	社会情報学科〔社会・メディア専攻〕	志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、課外活動など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書	
	社会情報学科〔コンピュータ・AI 専攻〕	志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、課外活動など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書	
食物栄養科学部	食物栄養学科	志望理由書／自己推薦書	
	食創造科学科	志望理由書／自己推薦書	
音楽学部	演奏学科	志望理由書／音楽プロフィール	
	応用音楽学科	志望理由書／音楽プロフィール	
薬学部	薬学科	志望理由書／自己推薦書	
	健康生命薬科学科	自己推薦書／資格を証明できる書類	
環境共生学部	環境共生学科	志望理由書／自己推薦書	
経営学部	経営学科	志望理由書／自己推薦書／学習活動（探究学習、海外留学など）報告書／学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書	

⑷　入学検定料

入学検定料納入期間は「⑴　出願期間」を参照してください。必ず入金締切日までに入学検定料の納入を完了してください。

入学検定料納入方法は①クレジットカード、②ネットバンキング、③コンビニエンスストア、④ ATM（ペイジー）から選択してください。お支払いについては、P.13 ～ P.14を参照してください。

入学検定料	35,000円　入学検定料の他に、サービス利用料（一律1,000円）が必要です。

以下の点にご注意ください。

①いったん納入された入学検定料は、原則返還できません。ただし、入学検定料を返還する場合があります。詳しくは P.19「８．入学検定料の返還について」を参照してください。

②納入期間内に入学検定料を納入されない場合は、出願は無効になります。

出願方法について

《注意事項》

出願期間内（P. 7 参照）に出願書類の郵送を必ず完了できるように、ご利用の郵便局窓口受付時間を事前に確認して、早めに手続きをしてください。

【推奨環境】

〈Windows11〉
Microsoft Edge 146.0
Google Chrome 146.0

〈Mac〉
macOS 15.7.5 Safari 26.4

〈スマートフォン・タブレット〉
iOS 26.4 Safari 26.4
Android 16　Google Chrome 146.0

※ WEB サイトの画面の内容は変更となる場合があります。

STEP 1　受験生サイト

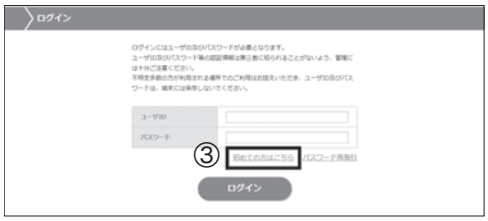
受験生サイトの①「出願はこちら」をクリックしてください。

STEP 2　インターネット出願・入学検定料決済サイト

未来教育総合型選抜の②「詳しくはこちら」をクリックしてください。

STEP 3　入試ポータルサイト

③「初めての方はこちら」をクリックしてください。

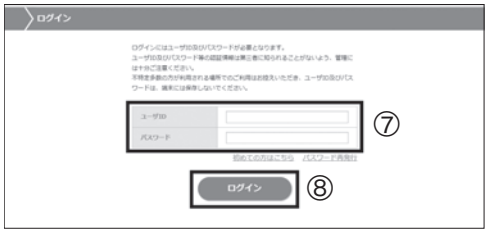


STEP 4　ユーザ登録

個人情報の取り扱いについてを確認し、④「上記事項に同意する」をチェックしてください。
ユーザ登録をするため、⑤「メールアドレス」を入力してください。
入力が完了したら⑥「ユーザ登録」をクリックしてください。
⑤で登録したメールアドレスに仮パスワードが記載されたメールが届きます。

STEP 5　ログイン

⑦「ユーザ ID」と「パスワード」を入力し、⑧「ログイン」をクリックしてください。

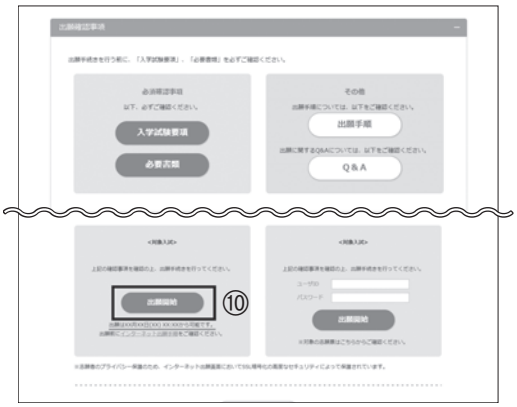


STEP 6　マイページ

プロフィールの「志願者情報編集」と「顔写真」の登録は不要です。
※この後の出願登録時に入力および登録が必要です。
⑨「出願登録および出願登録した情報をご確認いただけます」をクリックしてください。

STEP 7　出願開始

画面下部の⑩「出願開始」をクリックしてください。



STEP 8　志願票選択

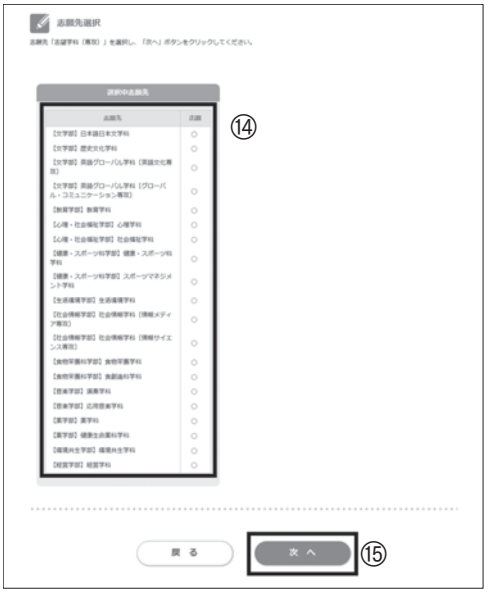
⑪「未来教育総合型選抜」を選択し、⑫「次へ」をクリックしてください。

STEP 9　日程（出願方式）を選択

試験日程の⑬「○」を選択してください。

STEP 10　志願先選択

⑭志望学科（専攻）を選択し、⑮「次へ」をクリックしてください。



STEP 11　試験場確認

⑯「次へ」をクリックしてください。

STEP 12　出願内容および入学検定料の確認

ここまでの出願内容に誤りがなければ、⑰「次へ」をクリックしてください。

STEP 13　志願者情報入力

⑱各項目を漏れなく入力してください。

STEP 14　写真アップロード

画面の指示に従い、⑲写真をアップロードしてください。
また、P. 8 ③写真データの説明文を確認してください。

STEP 15　志願者情報内容確認

志願者情報を確認し、誤りがなければ⑳「次へ」をクリックしてください。

STEP 16　アドミッション・ポリシーの同意確認

アドミッション・ポリシーを確認し、同意する場合は㉑「同意する」にチェックし、㉒「確認画面」をクリックしてください。

STEP 17　入力確認

㉓「次へ」をクリックしてください。

STEP 18　支払方法選択

㉔お支払い方法について「クレジットカード」か「コンビニ・ペイジー・ネットバンキング」のどちらかを選択してください。
㉕注意事項等をご確認の上、「上記、内容確認の上、同意しました」にチェックし、
㉖「次へ」をクリックしてください。

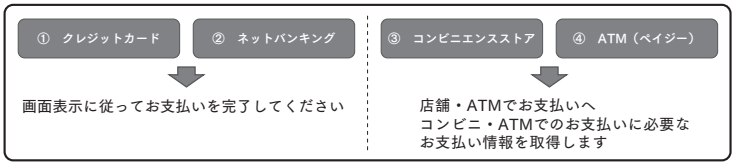
STEP 19　最終確認

お支払い内容、志願者情報、アドミッション・ポリシー、試験情報を確認し、誤りがなければ㉗「出願」をクリックしてください。

STEP 20　出願情報登録の完了→出願受付番号の確認・お支払いの手続き

㉘「出願受付番号」を必ず控えてください。
㉙「お支払い方法選択」をクリックしてください。

入学検定料のお支払いは、以下のいずれかの方法です。
①クレジットカード　②ネットバンキング　③コンビニエンスストア
④ ATM（ペイジー）
※未入金の状態では、出願は完了していません。必ず、お支払い手続きを済ませてください。
※いったん納入された入学検定料は、原則返還できません。
※入学検定料納入後の出願内容の変更、出願の取消しは一切認めません。



（注）未入金の状態では、出願は完了していません。必ず、お支払い手続きを済ませてください。

③コンビニエンスストア・④ ATM（ペイジー）でお支払いされる方

〔ご注意ください〕
コンビニエンスストア・ATM でのお支払い時に必要となるお支払い情報は、忘れずお持ちください。各コンビニエンスストア、ATM により必要な情報（番号）が異なります。

番号を控えるために下の表をご利用ください。

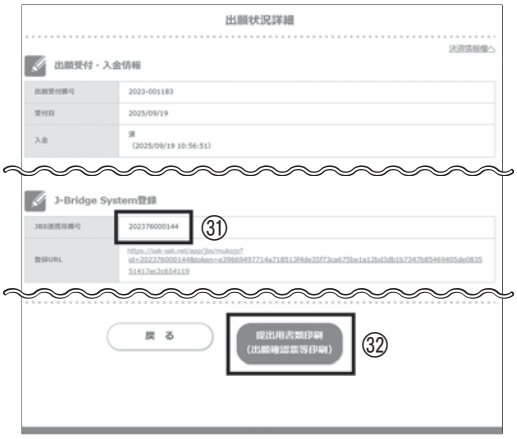
セブンイレブン	払込票番号		
ローソン・ミニストップ	お支払い受付番号		
	お客様電話番号		
ファミリーマート	収納番号	（左 5 桁）	20020
		（右12桁）	
デイリーヤマザキ	決済番号		
セイコーマート	お支払い受付番号		
	電話番号		
ATM（Pay-easy利用ATM）	収納機関番号		58171
	お客様番号		
	確認番号		

STEP 21　出願書類の郵送（出願状況の確認）

マイページの出願登録・出願内容の確認に入り、㉚「出願受付番号」をクリックしてください。

STEP 22　出願書類の郵送

㉛「JBS 連携用番号」を必ず控えてください。
ページ下部の㉜「提出用書類印刷」をクリックしてください。



STEP 23　出願書類の郵送（提出用書類を印刷する）

出願封筒用宛名シートおよび大学提出用出願確認票を A4サイズカラーで印刷してください。（本人控えはお手元で保管してください。）

STEP 24　出願書類の郵送（出願用封筒を作成し、郵送する）

印刷した出願封筒用宛名シートに必要事項を記入し、各自で用意した角２封筒に貼り付けし、郵送が必要な書類を封入してください。
出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

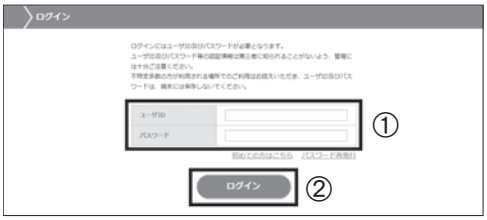
出願封筒用宛名シートはイメージです。実際の様式は多少異なる場合があります。

様式を印刷して、封筒に貼り付けてください。

書類提出システム（J-Bridge System）登録方法について

STEP 1　入試ポータルサイトにログイン

①「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し、②「ログイン」をクリックしてください。



STEP 2　出願書類の郵送（出願状況の確認）

マイページの出願登録・出願内容の確認に入り、③「出願受付番号」をクリックしてください。

STEP 3　J-Bridge System に進む

④「登録 URL」をクリックしてください。

STEP 4　J-Bridge System 新規会員登録

⑤「新規会員登録」をクリックしてください。

STEP 5　仮登録

⑥「個人情報の取り扱いについて」を確認し、同意するにチェックを入れてください。
⑦「J-Bridge System 利用規約」を確認し、同意するにチェックを入れてください。
⑧「同意して仮登録する」をクリックしてください。

STEP 6　本登録

⑨「パスワード」を設定し、⑩「会員登録する」をクリックしてください。

STEP 7　出願を登録

⑪「JBS 連携番号」を入力し、⑫「出願を登録する」をクリックしてください。
〔注意〕必ず入学検定料を納入した JBS 連携番号を入力してください。

STEP 8　登録一覧

⑬出願した大学・学部・学科名を確認し、間違いなければクリックしてください。
〔注意〕支払い済みであることを確認してください。

STEP 9　申請項目一覧①

⑭「申請を開始する」をクリックしてください。
その後、画面の指示に従い入力してください。

STEP 10　申請項目一覧②

全ての提出内容の登録や資料の添付等が完了したら、⑮「提出手続きへ」をクリックしてください。

STEP 11　提出内容の最終確認

内容を確認し、⑯「提出する」をクリックしてください。
※内容を変更する場合は「編集」をクリックしてください。

STEP 12　提出完了

⑰「回答済」になっていれば、提出は完了しています。
※提出内容は「印刷」することができます。

６．Web 受験票について

第一次選考の Web 受験票は2026年 9 月24日（木）午後から、第二次選考は2026年10月 6 日（火）午後から「【武庫川大学】」受験票確認のお知らせ」をメールします。メール到着後、入試ポータルサイトの出願状況詳細ページにて Web 受験票を確認してください。

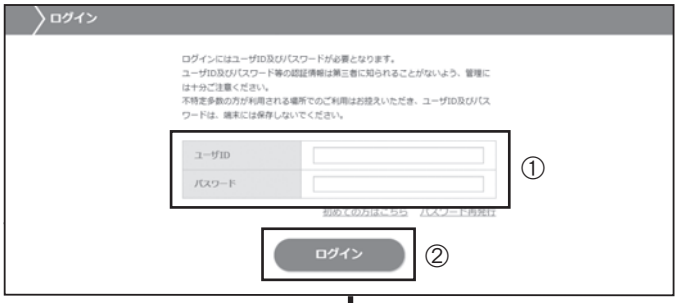
※第二次選考当日は Web 受験票を必ず印刷（A4横向き）し持参してください（携帯電話等の提示では受験できません）。

※受験票を印刷したら、出願した学科〔専攻〕および試験日等を必ず確認してください。出願した内容（出願した学科〔専攻〕および試験日）は一切変更することができません。出願した内容と異なる場合は、本学アドミッションセンターに連絡してください。

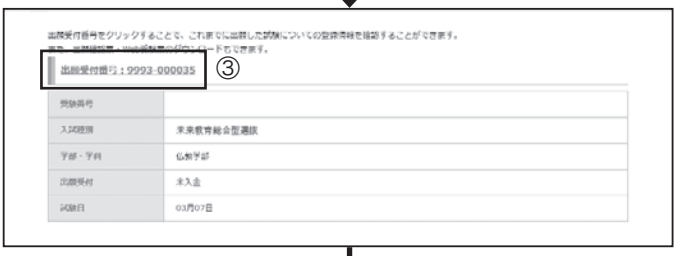
※自宅にプリンターがない場合はコンビニエンスストア等を利用し、印刷してください。

試験区分	Web 受験票配信日
第一次選考	2026年 9 月24日（木）午後
第二次選考	2026年10月 6 日（火）午後

〈Web 受験票確認・出力方法〉



①「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し、②「ログイン」をクリックしてください。



マイページの出願登録･出願内容の確認に入り、③「出願受付番号」をクリックしてください。

④「印刷」をクリックしてください。

受験票を A4横向きで印刷

※受験票 PDF の内容を確認し、出願内容に間違いがなければ受験票を印刷し、試験当日持参してください。

７．合格発表

（１）判定結果の通知方法は第一次選考と第二次選考で異なります。

〈第一次選考〉入試ポータルサイトの「合否照会」にて、結果発表日の正午から合否照会が可能です。不合格者には書類審査結果の通知と第二次選考分入学検定料返還願を郵便にて発送します。合格者には郵便での通知はありません。

〈第二次選考〉郵便の発送をもって本人宛に通知します（合格発表日前日の夕方に発送する予定ですが、郵便事情などにより、到着が合格発表日の翌日以降になる場合もあります）。

入試ポータルサイトの「合否照会」からも合格発表日の10：00から合否照会が可能です。

（２）学内掲示は行いません。

（３）判定結果の問い合わせには一切応じられません。

（４）結果は、受験生が出身校への通知を許可している場合、後日、出身学校長宛にも通知します。

第一次選考書類審査結果発表日	2026年10月３日（土）
第二次選考合格発表日	2026年11月１日（日）

８．入学検定料の返還について

（１）第一次選考不合格の場合

第二次選考入学検定料20,000円を返還します。

判定通知書と一緒に入学検定料返還に必要な書類を同封します。必要事項を記入し、提出期間内に必ず提出してください。

返還申出期間	2026年10月３日（土）～ 2026年10月16日（金）（17：00必着）厳守
返還期間	2026年12月１日（火）～ 2026年12月18日（金）

（２）本学の公募制推薦入試に出願している方で第二次選考に合格の場合

本学の公募制推薦入試の入学検定料を返還します。返還については次の期間内に入試ポータルサイトで所定の手続きをしてください。詳しくは入試ポータルサイトの入学手続きページ内の案内をご確認ください。

返還申出期間	2026年11月１日（日）～ 2026年11月13日（金）（17：00必着）厳守
返還期間	2027年２月１日（月）～ 2027年２月24日（水）

提出期間内に入試ポータルサイトで所定の手続きをされない場合は、入学検定料は返還できません。

９．入学手続

入学手続きの詳細については、入試ポータルサイトの入学手続きページでご確認いただけます。次の期間内に入学金（入学申込金）および学費等納付金を納入してください（入学金および学費等納付金については、P.48ページを参照）。

★入学金（入学申込金）および学費等納付金納入期間：2026年11月１日(日)～ 2026年12月11日(金)〔厳守〕

武庫川大学では、入学金および学費等納付金の納入後、「入学許可書」「学納金納付完了通知」などの文書は発行しておりません。

（注意）(a)　期限までに手続きを完了しない方は、入学を辞退したものとみなしますので、期限を厳守してください。
(b)　出願書類に虚偽の記載があった時は、合格（入学）を取り消す場合があります。
(c)　いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。

入学金（入学申込金）および学費等納付金の納入方法は①クレジットカード、②ネットバンキング、③ ATM（ペイジー）から選択してください。

入学金（入学申込金）および学費等納付金の他に、サービス利用料が必要です。

	サービス利用料
クレジットカード以外	￥1,250
クレジットカード	下記表参照

決済金額	サービス利用料
￥0 ～　￥200,000	￥4,600
￥200,001 ～　￥300,000	￥6,600
￥300,001 ～　￥400,000	￥8,600
￥400,001 ～　￥500,000	￥10,600
￥500,001 ～　￥600,000	￥12,600
￥600,001 ～　￥700,000	￥14,600
￥700,001 ～　￥800,000	￥16,600
￥800,001 ～　￥900,000	￥18,600
￥900,001 ～ ￥1,000,000	￥20,600
￥1,000,001 ～ ￥1,100,000	￥22,600
￥1,100,001 ～ ￥1,200,000	￥24,600

各学科の定める要項

日本語日本文学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">日本語や日本文学に関心を持ち、それらの学修を通して得た専門的知識と技能を活かして①自身の関心を伸ばし、他者の関心にも目を向け、言葉や文化を通じた相互理解を深めようとする姿勢を持つ人、②高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人。加えて、中学校の国語科教諭、高等学校の国語科または書道科教諭、学校図書館司書教諭、日本語教員、図書館司書、博物館学芸員などの資格取得や関連分野での活躍を志向する人。その上で「他者と積極的に協働する力」もしくは「ひとつのことに関心を持ち、探究する力」を備えている人物であること。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願時提出書類</td><td colspan="2">①自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②活動報告書
（コンクール等の受賞などの客観的評価でも、本を何冊も読んできたなど体験や経験の記述などでも構いません。）
※想定される活動実績の内容の一例
・高等学校での探究型学習への取り組みおよび成果物
・高等学校までの読書体験の記録
・学校内外での委員会や部活動、ボランティア等の活動実績
・学校内外でのスピーチコンテストでの入賞
・論文や創作作品、書道作品、映像作品・ウェブページ等の制作実績、表彰実績および成果物</td></tr>
<tr><td colspan="2">③活動内容を証明する参考資料
・論文、創作作品、書道作品等は、写真や PDF の場合3点以内とし、合わせて A4サイズ３ページを最大とする。表彰実績がある場合は、賞状の写真や PDF を上記と別に添えること（賞状の写真は1点まで）。
・映像作品は５分以内（ダイジェストも可）とする。ウェブページは分量指定なし。Youtube の URL（限定公開。概要欄に自分の名前を記載すること）、ウェブページも URL（ウェブページのどこかに自分の名前を記載すること）を示すこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・自己推薦書（800字以上～ 1000字以内）
・活動報告書（600字以上～ 800字以内）
①「他者と積極的に協働する力」もしくは「ひとつのことに関心を持ち、探求する力」を備えていることを具体的に説明しているか。
②それらの力が日本語日本文学科での学びにどう結びつくかが示されているか。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・小論文（60分）
学科の学びに関係するテーマを当日提示する。
・個人面接（20分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・小論文
当日出されたテーマについて深く思考し、自分の考えを論理的に記述できているか。
・個人面接
①質問を正しく理解し具体的に回答できているか。
②自己推薦書に記載した活動について明確に述べることができているか。
③ 入学後、本学科で意欲的に学ぶことができるか。
＊出願時提出書類③については現物を個人面接の際に持参してもよい。</td></tr>
</table>

歴史文化学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">日本の歴史・文化に関心を持ち、それらの学修を通して得た専門的知識と技能を活かして、①論理的、批判的思考力を備え、高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようとする意欲を持った人、②「様々なことに関心を持ち、意欲を持って取り組める力」、または「興味あることに粘り強く取り組める力」を持っている人。加えて、中学校の社会科教諭、高等学校の地理歴史科教諭、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員等の職業に就き、それぞれの分野での活躍を志向する人。
具体的には、高等学校において歴史総合をはじめ、日本史・地理分野を深く学び、加えて外国史および外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系とも幅広く学修して基礎的な学力を確保していることを求める。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願時提出書類</td><td colspan="2">①自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②活動報告書：文章のほか、写真・イラスト等の使用可
※想定される活動報告の例
・高等学校までの探究型学習への取り組み及び成果物
・学校内外での委員会や部活動、ボランティア、フィールドワーク、地域イベント等の活動・参加実績等
・史跡、世界遺産、博物館や美術館の訪問実績
・学校内外でのプレゼンテーション実績、スピーチコンテストでの入賞等
・各種検定試験の合格実績、表彰実績および成果物</td></tr>
<tr><td colspan="2">③活動内容を証明する参考資料（任意）
⑴活動報告書に記載した内容を補足する資料がある場合は、提出すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・自己推薦書（600字以上～ 800字以内）
⑴「様々なことに関心を持ち、意欲を持って取り組める力」、または「興味あることに粘り強く取り組める力」を持っていることを具体的に説明できているかを評価する。
⑵⑴で記した力が歴史文化学科での学びにどう結び付くかが示されているかを確認する。
・活動報告書（600字以上～ 800字以内）
活動内容の詳細、成果や効果が客観的に評価されているかを総合的に判断する。
※「客観的に評価」とは、表彰等の実績だけではなく、得られた経験や理解に対する評価も含みます。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・プレゼンテーション（５分）
以下の①②からひとつを選び、内容を説明したうえで、歴史的、あるいは社会的評価と自分の評価を比較しながらプレゼンテーションする。
①最も関心を持つ歴史的事象、人物等
②最も関心のある時事問題
・個人面接（25分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・プレゼンテーション
次の⑴～⑶について評価する。
⑴自分が選んだ事項について調査し、論理的かつ客観的に説明できているか。
⑵対象を選択した理由が明確に説明されているか。
⑶自身の考察や疑問を的確に伝えられているか。
・個人面接
次の⑴～⑶について評価する。
⑴質問を正しく理解し、対話できているか。
⑵提出書類（自己推薦書、活動報告書）の内容について適切に答えることができるか。
⑶⑴⑵について、話し方（スピード、声の大きさ、目線等）や態度を踏まえて総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td colspan="2">プレゼンテーションでは、発表に必要な資料等を持ち込んで使用しても構いません。
電子データを使用したい場合は資料を PDF 化し、USB に保存して持参してください。
パワーポイントのスライド等を用意する場合は、配布資料として印刷し、２名分用意してください。PC（Windows）、プロジェクタ、スクリーンは大学が用意します。</td></tr>
</table>

英語グローバル学科〔英語文化専攻〕

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
②大学入学までに学んだ英語をはじめ、その他の教科の知識を柔軟に活用する応用力を有している。
③大学の講義・演習・実習に真摯に取り組む意志を有している。
④本専攻のアメリカ分校留学（参加必須）に意欲的に参加する意志を有している。
⑤自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
⑥英語を使って、地域ならびに国際社会の発展に貢献したいという熱意を有している。
⑦自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。
⑧豊かな感性と広い視野を持ち、多様な人々と共に学び成長したいという熱意を有している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（1000字以上～ 1200字以内、「ですます調」で記すこと）
大学での学びや卒業後に目指す自身の姿を思い描き、英語グローバル学科英語文化専攻を志す理由を具体的に記すこと。
・自己推薦書（1000字以上～ 1200字以内、「ですます調」で記すこと）
これまでの学びを自己評価（学習や活動から得られたこと、今後の課題など）したうえで、「求める人物像」や「その他出願条件」に記された内容に関連して、力を入れて取り組んできたことや活動などに言及しながら自己アピールすること。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・グループディスカッション（日本語）（20分）
・個人面接（英語および日本語）（５分）
面接では英語で自己紹介をしてください。簡単な質疑応答を行います。その後、日本語で、出願時に提出された書類を中心に、本専攻で学ぶ姿勢などについて尋ねます。その際、自己推薦書で言及した活動を証明する資料（証明書や表彰状）を使って説明しても構いません。</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・グループディスカッション
他者の意見に耳を傾け、積極的に反応※していることを重視します。
※他参加者の発言内容に対して質問する、同意する点を明らかにして賛同するなど、ディスカッションに積極的に関わろうとする態度のこと
・グループディスカッションおよび個人面接
自分の意見を分かりやすく積極的に発言していることを重視します。</td></tr>
</table>

英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①グローバル社会をより良くするために、「何らかの取り組みを行ってきた人」または「入学後に取り組みたい活動計画がある人」。
※ここでの「取り組み」とは、「選考方法」における「エッセイ」「プレゼンテーション」「個人面接」を通じてアピールできる内容であれば、分野は問いません。
②社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している人。
③入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人。
④本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人。
⑤入学後にアメリカ分校へ４ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人。
⑥グローバル社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、民間企業や公的機関等で活躍する意欲を持った人。</td></tr>
<tr><td>出願時提出書類</td><td colspan="2">・エッセイ
※求める人物像①の「グローバル社会をより良くするための取り組み」について、具体的に記してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・エッセイ（日本語1000字以上～ 1200字以内）
⑴「これまでの取り組み」あるいは「入学後に取り組みたい活動計画」が、グローバル社会での活躍を期待させるものであるかを確認します。
⑵誤字等がなく一貫した明快な主張が書かれているか、またグローバル社会の課題に将来取り組む意欲が感じられるかを確認します。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・プレゼンテーション（日本語または英語）（５分）
・質疑応答（日本語および英語）（10分）
・個人面接（日本語および英語）（10分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・プレゼンテーションおよび質疑応答
「グローバル社会に生きる一人として、あなたが将来何をしたいか」を表現してください。
発表されたプレゼンテーションの内容に関する質問をします。
・個人面接
受験生は「これまでの取り組み」あるいは「入学後に取り組みたい活動計画」がどのようにグローバル社会と関わっているかについて尋ねます。</td></tr>
</table>

（次ページへつづく）

注意事項	プレゼンテーションでは、発表に必要なポスターや参考資料等を持ち込んで使用しても構いません。プレゼンテーションにおいて、ノートパソコンやタブレット PC の使用は必須ではありません。各種情報機器を使ってプレゼンテーションをする場合、以下の注意事項を確認のうえ準備をしてください。 1）大学側が試験会場に準備し、当日ご利用いただける機材は以下の３点です。 ① スライドを表示するための外部モニタ（液晶ディスプレイ 50インチ程度） ② 映像出力用の接続ケーブル２種類：HDMI およびアナログ RGB(D-sub15ピン) ③ AC 電源コンセント (100V) 2）ノートパソコンやタブレット PC を使用する場合、機器本体は必ず受験生の私物を持参してください。 3）情報機器の音声 (音響) は液晶モニタから適切に出力されない場合がありますので、なるべく使用しないでください。どうしても音声 (音響) の再生が必要な場合は、外部モニタを接続した状態で、私物の情報機器のスピーカーから音声を出力するための設定に慣れておいてください。大学側では機器操作に関する技術的な支援はできません。 4）標準的な Windows PC 以外の機材 (MacBook, iPad, android 等) を接続する場合は、会場の映像出力用ケーブル (HDMI または RGB) に接続するための専用アダプター類を必ず持参してください。 5）当日の機器トラブルに備えて、すべてのスライドをあらかじめ印刷して持参してください。面接官用の配布資料は準備不要です。

教育学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①教員や保育士をめざしており、教育現場や保育現場において、その充実と発展に貢献しようという強い意志を持つ者。
②理系・文系という枠組みに捉われず、教育学科での学びに必要となる確かな基礎学力を身につけており、講義・演習・実習（教育・保育現場での学外実習など）に真摯に取り組める者。
③学校の内外を問わず、仲間や周囲の人々とともに切磋琢磨してきた者。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願時提出書類</td><td colspan="2">①自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②活動報告書</td></tr>
<tr><td colspan="2">③活動内容を証明する参考資料(PDF で 1 つのファイルにまとめて提出すること。ただし、3 頁以内とする。)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・自己推薦書（800字以上～ 1200字以内）
「求める人物像」に関連する自身のアピールポイントが、これまでの学びで得られた知識や経験を踏まえて記述されていること。
・活動報告書（1000字以上～ 2000字以内）
高等学校入学以降で力を入れて取り組んできた活動について、活動内容の詳細と周囲の人々との関わりを示したうえで自己評価をし、教育学科での学びにどのように結びつくのか4年間の学習計画を添えて記述されていること。
※想定される活動実績の内容の一例
・学校内外での生徒会や委員会、部活動、ボランティア等の活動実績
・学校内外でのコンテストの入賞
・高等学校での教科学習や探究型学習への取り組み及び成果
・各種検定試験の合格実績、表彰実績
・留学、海外経験
・地域での諸活動</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・小論文（60分）
・グループディスカッション（20分）
・集団面接（20分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・小論文
教育や保育に関するテーマについて当日提示する。記述内容の論理性や表現力を評価する。
・グループディスカッション
教育や保育に関する諸課題について、問題解決に向けた討論を行う。その過程における理解力、積極性、協調性・コミュニケーション能力などの資質・能力を総合的に評価する。
・集団面接
質問を正しく理解し、的確に自分の考えを述べることを評価する。</td></tr>
</table>

心理学科

求める人物像	①人のこころの働きや人の行動に強い関心をもち、本学科で学ぶことを希望している。 ②理系・文系を問わず、幅広い科目に興味をもち、大学での学びに必要となる基礎学力を身に付けている。 ③問題を解決するために、身に付けた知識を活用して、考えようとする。 ④人と適切にコミュニケーションを取り、活動できる。 ⑤人を支援することや人と協働するための知識とスキルを身に付けることを目指している。	
出願時提出書類	・志望理由書 本学科を志望する動機を記すこと。	
選考方法	第一次選考	書類審査
	第一次選考ポイント	・志望理由書（600字以上～ 800字以内） 以下の2点のポイントをすべて含めて記載すること。 ①求める人物像の各項目を念頭におきながら、本学本学科を志望する動機を記載すること。 ②原稿用紙の使い方に沿って、適切に段落を構成し、字下げ、句読点などを適切に記載すること。
	第二次選考	・小論文（60分） 心理学に関連する文章を読み、自分の考えを記す。 ・グループディスカッション（30分） 小論文で課された内容についてグループで討議する。 ・個人面接（10分） 志望動機を確認する。また、グループディスカッションでの自分の発言内容や態度について振り返る。
	第二次選考ポイント	・小論文 記述内容の論理性や妥当性を評価する。また、誤字脱字等のチェックも行う。 ・グループディスカッション 他者に発言の機会を与えているか、自分の意見を他者にわかりやすく論理的に述べることができるかどうかをみる。 ・個人面接 志望動機を確認する。グループディスカッションでの自分の発言内容や態度を客観的に振り返ることができているかどうかを確認する。自分の言葉で的確に説明できるかどうかもみる。

社会福祉学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①本学科のアドミッション・ポリシーと合致し、学科の理念や内容をよく理解している者。
②本学科で学びたい意欲が明確であり、問題意識やテーマをもって入学する者。
③傾聴力と何事に対しても参加意欲がある者。</td></tr>
<tr><td>出願時提出書類</td><td colspan="2">次の(1)から(5)のいずれか１つを選択した上でレポートを作成し、提出すること。ただし、(1)から(4)の選択者は該当する体験を大学での学びにどのように生かそうと考えているのかを記すこと。(5)の選択者は各分野でどのように貢献したいかを記すこと。
(1)高等学校等において修得（見込みを含む）した福祉に関連する科目（介護・保育・家庭・公共・生活科学等）について学んだことを記すこと。
(2)高等学校等に在学中に委員会等の活動、ボランティア活動、福祉活動、その他社会的活動等を継続して６ヶ月以上行い、リーダー的役割を果たした経験について記すこと。
(3)社会的養護（児童養護施設、里親家庭での生活等）の経験又は受験時にその状態にあることについて記すこと。
(3)については、こども家庭庁が掲げる「こどもまん中の社会を実現する」理念に基づき、社会的養護の経験にある者の大学進学を支援し、本学本学科が目指す社会福祉学の理念と教育の発展に寄与することを目指して実施するものです。
(4)中学校から出願時までの諸活動（言語・学芸・スポーツ等）において優れた成績を収めた経験について記すこと。
(5)大学での学びを通じて、社会福祉、多文化共生、国際貢献、ソーシャル・ビジネス（社会企業等）等の分野でどのように貢献したいのかを記すこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・レポート（800字以上～ 1000字以内 ）
求められていることを具体的に説明すること。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・本学科教員が実施する模擬授業（60分程度）への参加
―社会福祉の今日的なテーマ、社会的な問題について講義を行います。
―講義は最初に構成を説明し、本題に入ります。
―講義中にメモ用紙に講義内容をメモします。
―講義後、模擬授業の内容のまとめと感想を記述します。
・グループワーク（45分程度　当日提示される課題を４～６人程度の小グループで実施）
―与えられたテーマについて５分間自分で考えてからグループワークに入ります。
・個人面接（20分程度）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・模擬授業の内容のまとめと感想の記述
(1)講義テーマ全体の概要、構成される内容について論理的にまとめることができる。
(2)特に印象に残る内容を紹介し、その理由と自らの考え等を感想として述べることができる。
(3)メモ用紙に、講義の要点やキーワードなどをメモできている。
・グループワーク
(1)自分の考えを簡潔に述べることができる。
(2)他者の意見を聞くことができ、意見を聞いた上で自分の意見を述べることができる。
(3)他者の発言に関心を持ち掘り下げる質問ができる。
(4)笑顔でコミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢がみられる。
・個人面接
提出書類に基づく質疑に適切に答えることができる。</td></tr>
</table>

健康・スポーツ科学科

求める人物像	①教育および生涯学習における運動指導の現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者。 ②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポートの現場において、コーチングやトレーニング指導を通して競技力向上に貢献しようとする者。 ③健康・スポーツ関連の官公庁、スポーツ団体、医療・福祉分野、幼児教育・保育等における運動・フィットネス指導の現場において、スポーツ・運動・身体活動を通した健康支援に貢献しようとする者。 ④スポーツや健康に関わる企業・団体等において、事業や支援を通して人々の健康づくりや身体活動の推進に貢献しようとする者。
出願時提出書類	①自己推薦書 以下⑴から⑶のアピールテーマの中から、自身が最もアピールしたいテーマを1つ選び、これまでの経験や考えについて記述してください。 ⑴教員志望アピール 中学校・高等学校保健体育教員を志望する理由、自身の適性、教育やスポーツ指導に対する考えについて記述してください。あわせて、学校教育やスポーツ指導に関心を持つようになった経験や、将来どのような教員を目指したいかについても具体的に述べてください。 ⑵健康・スポーツ活動アピール 運動部活動、サークル、地域・民間クラブ、体育行事、ボランティア等において、スポーツ活動や健康増進に関わる活動に取り組んだ経験について記述してください。活動内容とともに、そこから得た学びや成長、将来どのように活かしたいかについても述べてください。 ⑶競技実績アピール 高校以降の競技活動における実績や取り組みについて記述してください。競技成績だけでなく、その経験を通して得た学びや成長、将来どのように活かしたいかについても述べてください。
	②アピール内容を証明する参考資料（任意） 自己推薦書に記載した内容を補足する資料がある場合は、任意で提出することができます。 【例】記録、表彰状、写真、ノート、書面、記事など
	③志望理由書 本学科を志望する理由、将来の進路目標、ならびにこれまでの活動を踏まえた大学入学後の学習計画について、具体的に記述してください。

（次ページへつづく）

<table>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考
ポイント</td><td>①自己推薦書（800字以上～ 1200字以内）
選択したテーマに応じて、主に以下の点を確認します。
⑴教員志望アピール
・教職への関心や志望理由が明確に示されているか。
・教育やスポーツ指導に対する考えが具体的に述べられているか。
・これまでの経験と教員志望とのつながりが説明されているか。
・自身の適性や将来の学びへの意欲が示されているか。
⑵健康・スポーツ活動アピール
・活動内容が具体的かつ詳細に説明されているか。
・活動への主体的な取り組みが示されているか。
・活動を通して得た学びや成長が整理されているか。
・健康・スポーツを通して、将来どのように社会と関わりたいかが示されているか。
⑶競技実績アピール
・競技活動の内容や実績が具体的に示されているか。
・競技への継続的な取り組みや努力が示されているか。
・競技経験から得た学びや成長が整理されているか。
・競技経験を今後どのように活かしたいかが示されているか。
②アピール内容を証明する参考資料（任意）
自己推薦書の内容を補足する資料として確認します。活動実績や取り組み内容、本人の努力を客観的に示す資料がある場合は提出してください。
なお、参考資料は、提出の有無のみをもって評価が左右されるものではありません。特に、教員志望アピールを選択した場合は、志望理由や教育・指導に対する考え、これまでの経験とのつながりを、自己推薦書の記述内容から総合的に評価します。
③志望理由書（800字以上～ 1200字以内）
以下の内容について、これまでの経験と関連づけながら具体的に記述されているかを確認します。
・本学を志望する理由が明確に示されているか。
・大学入学後の学習計画が具体的に示されているか。
・自己推薦書に記載した経験と今後の学びとのつながりが示されているか。
・学習意欲や具体的な学習行動が明確に記述されているか。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・グループディスカッション
第二次選考では、3分間の自己アピールの後、与えられたテーマについて、最終コメントを含む50分間のグループディスカッションを行います。最終コメントでは、議論を通して得た気づきや、自身の考えを整理して端的に述べてください。
※自己アピールにあたっては、事前に整理したメモを参照しても差し支えありません。</td></tr>
<tr><td>第二次選考
ポイント</td><td>第二次選考では、自己アピール、グループディスカッションおよび最終コメントを通して、受験生の思考力、表現力、協働性、主体性など、大学での学修に必要な資質・能力を総合的に評価します。
その際、異なる背景や立場をもつ他者の視点を踏まえ、協調的に議論を深める力についても重視して評価します。</td></tr>
</table>

スポーツマネジメント学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①スポーツや健康、レジャーに関わる企業・団体や、スポーツイベントの企画・運営など、スポーツマネジメント分野で活躍しようとする者。
②健康・スポーツ関連の官公庁、民間のスポーツ施設や団体等において、施設運営やプログラム企画などを通して、人々のスポーツ参加や健康づくりに貢献しようとする者。
③競技スポーツの現場において、環境整備、組織運営、プロモーション、施設管理などを通して、競技力向上を支える基盤づくりに貢献しようとする者。
④教育および生涯学習の場において、スポーツ活動や健康・スポーツ教育の充実に向けて、企画・運営・支援活動を通して貢献しようとする者。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出願時提出書類</td><td colspan="2">①活動報告書
本学部学科を志望する動機となった、運動部活動、サークル、地域・民間クラブ、体育行事、ボランティア等において、スポーツ活動や健康増進に関わる活動に継続的に取り組んだ経験について記述してください。
あわせて、活動内容の詳細とともに、そこから得たことや学んだことについても具体的に述べてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">②活動内容を証明する参考資料（任意）
活動報告書に記載した内容を補足する資料がある場合は、任意で提出することができます。
【例】記録、書面、写真、ノートなど</td></tr>
<tr><td colspan="2">③入学後の計画書
将来の進路目標と、それを踏まえた大学入学後の学習計画および学習意欲について、具体的に記述してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>①活動報告書（800字以上～ 1200字以内）
主に以下の点を確認します。
・スポーツ活動や健康増進に関わる活動内容が具体的かつ詳細に示されているか。
・継続的・主体的に活動に取り組んできたことが示されているか。
・活動を通して得たことや学んだことが整理されているか。
・活動経験を今後どのように活かしたいかが示されているか。
・本学科を志望した動機が示されているか。
②活動内容を証明する参考資料（任意）
活動報告書の内容を補足する資料として確認します。活動実績や取り組み内容を客観的に示す資料がある場合は提出してください。
なお、参考資料は、提出の有無のみをもって評価が左右されるものではありません。活動報告書に記載された内容を中心に総合的に評価します。
③入学後の計画書（800字以上～ 1200字以内）
以下の内容について、これまでの活動経験と関連づけながら具体的に記述されているかを確認します。
・将来の進路目標が明確に示されているか。
・大学入学後の学習計画が具体的に示されているか。
・これまでの活動経験と今後の学びとのつながりが示されているか。
・学習意欲や具体的な学習行動が明確に記述されているか。</td></tr>
</table>

（次ページへつづく）

	第二次選考	・グループディスカッション ・個人面接 第二次選考では、5人程度のグループによる30分間のグループディスカッションおよび10分間の個人面接を行います。 個人面接では、活動報告書、入学後の計画書、ならびにグループディスカッションでの議論をもとに質問します。
	第二次選考ポイント	第二次選考では、グループディスカッションおよび個人面接を通して、受験生の思考力、表現力、協働性、主体性、ならびにスポーツマネジメント分野への関心と理解を総合的に評価します。 ・グループディスカッション 提示されたスポーツをめぐる諸課題に関する資料をもとに、課題解決に向けたマネジメントのあり方について、自分の意見を述べることができるかを確認します。 また、グループメンバーの意見を踏まえながら、積極的に発言し、協調的に議論を進めることができるかを評価します。 ・個人面接 活動報告書、入学後の計画書、グループディスカッションをもとにした質問に対して、自分の考えを述べることができるかを確認します。 また、質疑の中で、自分の考えを深めたり、必要に応じて修正したりしながら応答できるかを評価します。

生活環境学科

求める人物像	・社会を理解し、生活環境学に関する専門性を身に付けるために必要な基礎学力を有している者。 （工業科、商業科、美術科、防災科、ファッション科含む） ・身の回りにあり、生活を形づくるものごとを、連続した生活環境として捉え、広い視野を持って学ぶための思考力を有し、生活環境に関して、文化的・社会的・科学的・工学的・造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を習得しようとする姿勢を有している者。 ・生活環境を構成する事象に対し、定量的・論理的・創造的なアプローチから学び、生活環境における課題を発見・分析し、その解決策・改善策を提案し、社会に還元しようとする意欲を有している者。	
出願時提出書類	①志望理由書 ②自己推薦書 ③活動内容を証明する参考資料	
選考方法	第一次選考	書類審査
	第一次選考ポイント	①志望理由書（400字以上～ 500字以内） 本学科の志望動機・志望理由を記してください。 ②自己推薦書（400字以上～ 500字以内） ③活動内容を証明する参考資料 ②について、根拠となった活動実績や、自らの努力を客観的に証明できるものを添付し提出してください。表彰状・資格証明書の写し・写真・イラストも含み、形式は問いません。 デジタルデータの場合は参照用 URL が記載されたものを添付し提出してください。
	第二次選考	生活環境に関するテーマを当日発表します。そのテーマについて模造紙に表現し、プレゼンテーションしてください。 ・プレゼンテーションシート作成（60分） ・プレゼンテーション（５分） 個人で実施します。 ・個人面接（10分） プレゼンテーションの内容についても質問します。 ※持ち物は必要ありません。
	第二次選考ポイント	・プレゼンテーションシート作成およびプレゼンテーション 生活環境に関わる興味・関心、論理性、創造性、表現力などを評価します。 ・個人面接 生活環境に関わる知識に加え、興味・関心、思考力などを評価します。

社会情報学科〔社会・メディア専攻〕

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①メディアについての学びを深めるとともに、社会を理解するために必要な基礎学力を有している。
②メディアや社会について関心を持ち、自らの視座を広げ、学びを深める意欲を有している。
③公平な視点を持ち、多様な人々と協働して、新たな価値を創造することへの意欲を有している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">③学習活動（探究学習、課外活動など）報告書</td></tr>
<tr><td colspan="2">④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）
・学習活動（探究学習、部活動、地域活動、ボランティア活動を含む課外活動など）報告書（800字以上～ 1200字以内）
探究学習や課外活動について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真などよく分かる内容があれば添付すること。
次の⑴～⑶について確認します。
⑴目的や目標の明確さ
探求や活動の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。
⑵活動内容の詳細さ
活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。
⑶成果や効果の評価
活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。
・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～ 600字以内）
自身の学習活動を活かし、大学でどのような学習に取り組みたいかについて記述してください。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）
・個人面接（20分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>次の⑴～⑷、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。
⑴コミュニケーション能力
聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。
⑵プレゼンテーションの構成
プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。
⑶ビジュアルデザイン
プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。
⑷面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。</td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td colspan="2">［プレゼンテーションについての注意点］
・プロジェクタ・スクリーンは大学が用意します。
・自身で作成したプレゼンテーション資料を格納したPCやタブレット型端末などを持参してください。大学が用意したHDMI・USB-Cケーブルでディスプレイに接続してください。
・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として2名分用意してください。</td></tr>
</table>

社会情報学科〔コンピュータ・AI 専攻〕

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①高等学校等において、数学、国語、外国語、理科、情報を中心に幅広く基礎知識を修得しているとともに、ものごとを順を追って論理的に考える志向がある。
② AI に代表される新しい情報技術に興味や関心を持ちそれらを学ぶ向上心を持っている。
③技術と科学を通して社会の発展に貢献したいという意欲を持っている。
④豊かな感受性と公平な気持ちを持ち、立場や考えの違う人々とも協働して学ぶ態度を持っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">③学習活動（探究学習、課外活動など）報告書</td></tr>
<tr><td colspan="2">④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考
ポイント</td><td>・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）
・学習活動（探究学習、課外活動など）報告書（800字以上～ 1200字以内）
探究学習や課外活動について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真などよく分かる内容があれば添付すること。
次の⑴～⑶について確認します。
⑴目的や目標の明確さ
探求や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。
⑵活動内容の詳細さ
活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。
⑶成果や効果の評価
活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。
・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～ 600字以内）
自身の学習活動を活かし、大学でどのような学習に取り組みたいかについて記述してください。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）
・個人面接（20分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考
ポイント</td><td>次の⑴～⑷、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。
⑴情報技術や科学への興味
情報技術や広く科学一般に対する興味をもって、大学での学びを行う意欲が備わっているかを評価します。
⑵論理的に考え伝える力
プレゼンテーションの内容を、順序立てて分かりやすく明確に伝えられているかを評価します。
⑶持続力と向上心
目標に向かって努力を積み重ねる力、様々な経験をその後の成長に活かす姿勢をもっているかを評価します。
⑷面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。</td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td colspan="2">［プレゼンテーションについての注意点］
・プロジェクタ・スクリーンは大学が用意します。
・自身で作成したプレゼンテーション資料を格納した PC やタブレット型端末などを持参してください。大学が用意した HDMI・USB-C ケーブルでディスプレイに接続してください。
・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として2名分用意してください。</td></tr>
</table>

食物栄養学科

求める人物像	①栄養学の基本となる基礎学力（化学･生物）を有し､将来､管理栄養士の有資格者として医療の分野あるいは、健康・福祉・スポーツ・食品開発・その他の分野で社会貢献したいという強い意志がある。 ②医療や健康･福祉･スポーツ･食品開発などに携わる者としての使命感と倫理観を有し、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を身につけようとする姿勢がある。 ③科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。 ④自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。	
出願時提出書類	①志望理由書	
	②自己推薦書	
選考方法	第一次選考	書類審査
	第一次選考ポイント	・志望理由書（400字以上～ 500字以内） 本学科の志望動機・志望理由を記すこと。 ・自己推薦書（400字以上～ 500字以内） 高校時代の学習、諸活動を通じて、自らの成長のために努力したことを記すこと。 本学が求める人物像を踏まえて記されているか。 食物栄養学の学びを理解し、本学で学ぶ意欲が論理的かつ具体的に記されているか。 高校時代の経験が食物栄養学での学びにどのように結びつくのか、根拠となるエピソードをもとに具体的に記されているか。
	第二次選考	・小論文（60分） 食（栄養）と健康に関するテーマを当日提示する。 ・個人面接（20分） 第一次選考で提出した書類および小論文に記した内容等に関して問う。
	第二次選考ポイント	・小論文 課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できているか。 ・個人面接 自分の意見を積極的に伝えることができるか。 面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。 身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。

食創造科学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①社会を理解し、食創造科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
②自然科学の基礎知識に加え、高等学校等で学習する幅広い基礎学力を有している。
③自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
④高度な問題解決能力と実践的能力を身につけた「食の専門家」として、食産業界の発展に貢献しようとする意欲を有している。
⑤自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。
⑥豊かな発想と高いコミュニケーション能力を活かして、新しい食を創造し、人々の豊かで健康的な食生活に貢献しようという意志を有している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（800字以上～ 1000字以内）
食創造科学科で何を学び、卒業後は何を目指したいかが明確であること。
・自己推薦書（800字以上～ 1000字以内）
高校までの学習や部活動で得られた知識や経験について、食創造科学科の入学者受入れ方針（P.59）と関連させて記載されていること。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・小論文（60分）
題材は当日に提示する。
・集団面接（20分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・小論文
自分の意見を的確に述べていること。
・集団面接
自分の意見を積極的に伝えることができるか。
面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。
身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。</td></tr>
</table>

演奏学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①幅広い教養と音楽に関する基礎知識および専門実技の基礎技術を有している者。
②音楽を深く愛する心と柔軟な感性を持ち、高度な専門的教養と演奏技術の習得に向けて研鑽を積む積極性を有している者。
③人に感銘を与える演奏について自ら考え高い芸術性を希求し、国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を有している者。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②音楽プロフィール
音楽や舞台経験に関する活動を述べてください（部活動実績を含む）。また、コンクールの受賞歴等の特記事項があれば箇条書きで記載し、証明できる資料を添付してください（表彰状のスキャンまたはスクリーンショット、コンクールのホームページの結果画面のスクリーンショットなど形式は問いません）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">③実技試験申告書（P.45 ～ 46を確認の上、P.47を印刷して必要事項を記入し、郵送してください。）
第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">④伴奏用楽譜（声楽とミュージカル歌唱のみ。P.45を確認し郵送してください。）
第一次選考では使用しません。第二次選考の実技試験で使用します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（800字以上～ 1000字以内）
・音楽プロフィール
文字数制限はありませんが、コンクールの受賞歴などは改行し箇条書きにするなど簡潔に記載してください。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・実技試験（詳細は P.45 ～ 46を確認してください）
・音楽全般に関する口頭試問（15分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・実技試験
実技試験課題に対する理解力、表現力、技術力、熱意を評価します。
・音楽全般に関する口頭試問
作品や作曲家、楽典、演奏した曲等について試問します。</td></tr>
</table>

応用音楽学科

求める人物像	①音楽に関する基本的な知識と演奏技術を備え、高等学校等での各教科等における基礎学力を有している者。 ②音楽と人間に関わる幅広い領域に興味関心を持ち、音楽を通して社会に寄与したいという熱意を有している者。 ③多様な人々と協同して学ぶ態度を備え、本学科での学修を通して得た知識や技能を活かした職業に就き、それぞれの分野において活躍し、社会に貢献したいという意志を持っている者。	
出願時提出書類	①志望理由書	
	②音楽プロフィール ・音楽に関する活動を述べてください（部活動実績を含む）。また、コンクールの受賞歴等の特記事項があれば箇条書きで記載し、証明できる資料を添付してください（表彰状のスキャンまたはスクリーンショット、コンクールのホームページの結果画面のスクリーンショットなど形式は問いません）。 ・これまでに行った音楽に関する研究があればそのテーマと概要を簡潔に記載してください。	
選考方法	第一次選考	書類審査
	第一次選考ポイント	・志望理由書（800字以上～ 1000字以内） ・音楽プロフィール 文字数制限はありませんが、コンクールの受賞歴などは改行し箇条書きにするなど簡潔に記載してください。
	第二次選考	・音楽全般に関する口頭試問（15分）
	第二次選考ポイント	・音楽全般に関する口頭試問 音楽と人との関係、自分が好きな音楽等について試問します。

薬学科

求める人物像	①本学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を理解し合致する者。 ②将来薬剤師有資格者として、医療や健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある者。	
出願時提出書類	①志望理由書	
	②自己推薦書	
選考方法	第一次選考	書類審査 ・志望理由書（800字以上～ 1000字以内） 本学科の志望動機、志望理由について記述すること。 ・自己推薦書（800字以上～ 1000字以内） 高校時代の学習、諸活動を通じて、自らの成長のために努力したことについて記述すること。
	第一次選考ポイント	・薬学科のアドミッション・ポリシーや、求める人物像に合致しているか。 ・わかりやすい文章で論理的に説明されているか。
	第二次選考	・課題レポート（60分） 薬・医療・薬剤師等に関する文章を読み、自分の考えを時間内に記述する。 ・個人面接（15分） 第一次選考で提出した書類および課題レポートに記した内容等に関して問う。
	第二次選考ポイント	・課題レポート 課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できているか。 ・個人面接 自分の意見を積極的に伝えることができるか。 面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか。 身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か。

健康生命薬科学科

求める人物像	①十分な基礎学力を有するとともに、自然科学に興味を持っており、自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。入学前には、学修の基礎となる化学、生物、国語、外国語、数学の基礎的な知識を幅広く身につけていることを求める。 ②科学的な思考力・問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解できる。 ③薬学研究に取り組み、研究成果を通して、人類の健康と福祉に貢献したいという強い意志がある。もしくは、中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという強い意志がある。	
出願時提出書類	①自己推薦書 ※第一次選考ポイント⑶の資格取得に関して記述した場合、証明する書類を添付すること。	
選考方法	第一次選考	書類審査
	第一次選考ポイント	・自己推薦書（1000字以上～ 1600字以内） ⑴大学を卒業して社会に出るとき（社会人になるとき）、どのような目標を持っているか。 ⑵⑴を達成するために、本学科で学びたい内容とその計画について記すこと。 ⑶高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（勉学をはじめ、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ・部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得、探究活動の成果など）について記し、そのうちもっともエネルギー（努力や時間）を傾けた活動について、その理由およびそこから学んだことを記すこと。 ⑷各段落の冒頭に指示された番号⑴～⑶を記してから本文を記すこと（文字数の配分は任意）。
	第二次選考	・医薬品、化粧品、健康食品および周辺領域に関する小論文（60分） ・個人面接（15分）
	第二次選考ポイント	・小論文 課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できていること。 ・個人面接 自己推薦書の内容に関する質問に対して、その意図を正しく理解し、的確に自分の考えを述べていること。

環境共生学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">幅広い視野・教養・科学的知見に支えられた分析思考力・豊かな経験知・多様な他者との共感力を身につけて活用し、地球環境・自然環境問題に関わる諸課題を解決する計画を立案し実践する意欲を有する者。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書：⑴または⑵のどちらか１つを選んで記述してください。
⑴中学校から高等学校までに取り組んだ活動。例えばボランティア活動、地域の課題や改善に意欲をもって取り組んだことについて記述してください。
⑵入学後に学びたいこと、卒業後に取り組みたい夢や目標を記述してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
⑴出願するに至った理由を記述してください。
⑵環境共生学科の学びについて記述してください。
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・個人面接（10分）</td></tr>
<tr><td>第二次選考ポイント</td><td>・個人面接
自己推薦書で記述した内容について２～３分程度で話してもらいます。</td></tr>
</table>

経営学科

<table>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">①知識
　社会を理解し、経営学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している者。
②姿勢
　自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している者。
③行動
　自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している者。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出願時提出書類</td><td colspan="2">①志望理由書</td></tr>
<tr><td colspan="2">②自己推薦書</td></tr>
<tr><td colspan="2">③学習活動（探究学習、海外留学など）報告書
⑴未来教育総合型選抜（経営学科）における「探究学習」の内容例
・「実社会や実生活における課題に対して、生徒が自ら、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する活動」
・対象となる活動は、高等学校の必修科目「総合的な探究の時間」での活動に限定しません。
・定義に当てはまる活動であれば、実習的な活動やクラブ活動、生徒会等での活動、生徒を対象とした「探究」に係るコンテストへの参加、学校外の活動なども評価対象です。
・活動の分野は、経営分野に限定しません。
⑵探究学習に当てはまらないケースの例
・授業科目の成績アップを目標にした学習
・運動クラブの活動（※上述の内容に当てはまる場合を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">④学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選考方法</td><td>第一次選考</td><td>書類審査</td></tr>
<tr><td>第一次選考ポイント</td><td>・志望理由書（400字以上～ 600字以内）
・自己推薦書（400字以上～ 600字以内）
・学習活動（探究学習、海外留学など）報告書（800字以上～ 1200字以内）
探究学習や海外留学について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真などよく分かる内容があれば添付すること。
次の⑴～⑶について確認します。
⑴目的や目標の明確さ
探究や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。
⑵活動内容の詳細さ
活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。
⑶成果や効果の評価
活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。
・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書（400字以上～ 600字以内）
学習活動をもとにした、大学入学後の学習計画について記述してください。</td></tr>
<tr><td>第二次選考</td><td>・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション（10分）
・個人面接（20分）</td></tr>
</table>

（次ページへつづく）

	第二次選考ポイント	［第二次選考ポイント］ 次の(1)～(4)、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。 (1)コミュニケーション能力 聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。 (2)プレゼンテーションの構成 プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。 (3)ビジュアルデザイン プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。 (4)面接では第一次選考資料・第二次選考資料に関する質疑応答も評価します。
注意事項	［プレゼンテーションについての注意点］ ・発表方法は自由ですが、PC やタブレット型端末の貸出やスクリーンの用意はありません。 ・PC やタブレット型端末などは持参されても使用できません。 ・パワーポイントのスライド等を用意する場合は印刷して配布資料として２名分用意してください。	

音楽学部演奏学科実技について

1．実技試験について

■実技は暗譜で演奏してください。ただし、管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン）のみ暗譜の必要はありません。
■ピアノの試験は全て反復なしで演奏してください。
■声楽とミュージカル歌唱のピアノ伴奏者は本学で用意します。管弦楽器には伴奏がつきません。
■「実技試験申告書」は出願の際、提出してください。記載順に演奏してください。
■時間の都合により演奏途中でカットする場合があります。

2．実技試験課題について

演 奏 学 科

声楽・ミュージカルコース

声　楽　専　修

任意の楽曲 2 曲を暗譜で歌唱してください。2 曲とも伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください（のり付け不要）。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

ミュージカル専修

課題①および課題②を行ってください。

課題①

ミュージカル歌唱　自由曲 1 曲

（注）日本で上演されているミュージカルで楽譜が出版されているものに限ります（映画上映のみの作品は認めない）。自作曲不可。

ミュージカル曲を暗譜して歌唱してください（言語は問わない。ただし、楽譜に記載の歌詞と違う言語で歌唱する場合は歌詞を書き込むこと）。ピアノ伴奏の付いた楽譜（コードのみの伴奏譜は不可）にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください（のり付け不要）。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

課題②

以下の 3 種類から 1 つ選択してください。

【ミュージカル歌唱】

自由曲1 曲（ただし、課題①以外の楽曲）

（注）日本で上演されているミュージカルで楽譜が出版されているものに限ります(映画上映のみの作品は認めない)。自作曲不可。

ミュージカル曲を暗譜して歌唱してください（言語は問わない。ただし、楽譜に記載の歌詞と違う言語で歌唱する場合は歌詞を書き込むこと）。ピアノ伴奏の付いた楽譜（コードのみの伴奏譜は不可）にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください（のり付け不要）。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

【クラシック歌唱】

任意の日本歌曲、イタリア歌曲より1曲を暗譜して歌唱してください。伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください（のり付け不要）。また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

【ダンス】

下記の QR コードを読み取り、動画の振り付けを覚えて踊ってください。

https://www.mukogawa-u.ac.jp/~nyushi/practical_skills/music/

ピアノ・管弦楽器コース（ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーン）

ピアノ専修　J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms, C.Saint-Saëns, E.Chabrier, E.Grieg, G.Fauré, C.Debussy, A.Scriabin, S.Rachmaninoff, M.Ravel, B.Bartók, S.Prokofieff より1人の作曲家を選び、1～数曲（合計5分以上）演奏してください。

＊ソナタの場合は、選曲する楽章も明記してください。

＊変奏曲の抜粋は認めません。

管弦楽器専修　任意の楽曲（1～数曲）を合計3分以上演奏してください。

入学後の専修および授業について

・音楽学部演奏学科の専修は、声楽・ミュージカル・ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーンです。

・演奏学科では、受験した実技が入学後の主専実技（個人レッスン）となります。ただし、ミュージカル専修の主専実技（個人レッスン）はミュージカル歌唱のみです。

未来教育総合型選抜

10月11日(日)

2027年度
武庫川大学音楽学部演奏学科
実技試験申告書

※ここには何も記入しないでください。

フリガナ			
氏　名		メールアドレス	
出身高校等	（　　）都道府県（　　）立（　　）高等学校 中等教育学校		
住　所	〒		
*自宅電話番号	（　　）　－	*緊急連絡先（携帯電話等）	（　　）　－

写真貼付
縦4.0cm×横3.0cm
〔カラー写真(白黒不可)〕
1．出願前３ヶ月以内に撮影したもの
2．正面・上半身・無帽
3．写真裏面には志望学科と氏名を必ず記入してください。

＊出願書類に不備があった場合の本学からの問い合わせ用電話番号です。

受験する実技および受験曲

演奏学科 実技	受験する実技　該当番号記入欄(　　) ①声楽　②ミュージカル　③ピアノ　④ヴァイオリン　⑤ヴィオラ　⑥チェロ　⑦フルート　⑧オーボエ ⑨クラリネット　⑩ファゴット　⑪サクソフォン　⑫ホルン　⑬トランペット　⑭トロンボーン			
	①、③～⑭　曲目および作品番号（原語で記入すること）			作曲者名（原語で記入すること）
	②		歌唱曲目	作曲者名またはミュージカル作品名
	課題①	ミュージカル歌唱		
	課題②※	□ミュージカル歌唱		
		□クラシック歌唱		
		□ダンス		

※課題②は、ミュージカル歌唱、クラシック歌唱、ダンスのうち１つを選択して□に✓を入れてください。

〈注〉声楽およびミュージカルで受験する者は、伴奏用楽譜にブレスの箇所を記入して、出願時に提出してください(のり付け不要)。
また、楽譜の余白部分に受験生氏名を記入してください。

10. 入学金および学費等納付金

納付金は下表のとおりです。（参考：2026年度入学生納付金。2027年度入学生納付金等については、７月頃本学受験生サイトで更新します）

（単位：円）

学部・学科 ＼ 費目		大学											
		文学部			教育学部	心理・社会福祉学部		健康・スポーツ科学部		生活環境学部	社会情報学部	食物栄養科学部	
		日本語日本文学科	歴史文化学科	英語グローバル学科	教育学科	心理学科	社会福祉学科	健康・スポーツ科学科	スポーツマネジメント学科	生活環境学科	社会情報学科	食物栄養学科	食創造科学科
入学申込金	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費	授業料（第1回・第2回共通額）	455,500	455,500	455,500	506,500	506,500	506,500	506,500	506,500	506,500	504,000	506,500	506,500
	教育充実費（第1回・第2回共通額）	106,000	106,000	106,000	121,500	121,500	121,500	121,500	121,500	132,000	95,000	132,000	132,000
	実験実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	–	–	–	※1 13,000	※1 13,000	–	–	30,500	26,500
	実務実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
その他諸費	教育後援会費(第1回)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	教育後援会費(第2回)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学友会費(第1回のみ)	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
小計	第1回納入額(入学手続時)	772,700	772,700	772,700	839,200	839,200	839,200	852,200	852,200	849,700	810,200	880,200	876,200
	第2回納入額(10月)	565,000	565,000	565,000	631,500	631,500	631,500	644,500	644,500	642,000	602,500	672,500	668,500
初年度納入額総額		1,337,700	1,337,700	1,337,700	1,470,700	1,470,700	1,470,700	1,496,700	1,496,700	1,491,700	1,412,700	1,552,700	1,544,700
2年次以降納入額(年間)		1,206,200	1,206,200	※3 1,247,200	1,351,200	1,340,200	1,340,200	※4 1,408,200	※4 1,408,200	1,394,200	1,386,200	1,581,200	1,573,200

学部・学科 ＼ 費目		大学								
		建築学部		音楽学部		薬学部		環境共生学部	看護学部	経営学部
		建築学科	景観建築学科	演奏学科	応用音楽学科	薬学科	健康生命薬科学科	環境共生学科	看護学科	経営学科
入学申込金	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費	授業料（第1回・第2回共通額）	570,000	570,000	697,500	697,500	764,500	575,500	560,000	686,000	407,500
	教育充実費（第1回・第2回共通額）	158,500	158,500	174,500	174,500	191,500	195,500	158,500	173,500	106,000
	実験実習費（第1回・第2回共通額）	40,000	40,000	–	–	–	–	–	–	–
	実務実習費（第1回・第2回共通額）	–	–	–	※2 10,000	–	–	–	–	–
その他諸費	教育後援会費(第1回)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	教育後援会費(第2回)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学友会費(第1回のみ)	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
小計	第1回納入額(入学手続時)	979,700	979,700	1,083,200	1,093,200	1,167,200	982,200	929,700	1,070,700	724,700
	第2回納入額(10月)	772,000	772,000	875,500	885,500	959,500	774,500	722,000	863,000	517,000
初年度納入額総額		1,751,700	1,751,700	1,958,700	1,978,700	2,126,700	1,756,700	1,651,700	1,933,700	1,241,700
2年次以降納入額(年間)		1,726,200	1,726,200	1,911,200	1,911,200	2,115,200	1,785,200	1,656,200	1,781,200	1,263,200

※1　野外実習費 １年次・２年次のみ　　※2　１年次のみ
※3　英語グローバル学科は上記とは別にアメリカ分校留学の参加費が必要です（P.50参照）。
※4　３、４年次は1,382,200円になります。

〔注意事項〕

1．入学金（入学申込金）は、初年度のみの納入となります。
2．いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。
3．学費、教育後援会会費は、入学手続時に年額の半額を第１回分として納入し、10月に残額を第２回分として納入となります。
4．薬学部の実験実習費は２年次以降の納入となります（薬学科は２～６年次　年額96,000円、健康生命薬科学科は２～４年次　年額160,000円）。
5．資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費は、該当者のみ別途徴収します（詳細は下表参照）。
6．本学は標準服制度です。
7．本学においては、入学に関する寄付金はいっさい受け取りません。
8．学費等納付金のほか入学手続については、P.20「入学手続」をご参照ください。

学生総合保障制度への全員加入

学生全員が安心安全な学生生活を送るために学生総合保障制度（学生保険）に全員加入していただきます。詳細は合格通知書に同封する書類でご確認ください。

資格取得に必要な諸経費（参考：2026年度実施分）

資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費等は該当者のみ別途徴収します。

資格課程履修費等　（単位:円）

費　目	金　額
教職課程履修費（高校・中学校） 教育学部は学費に含むため別途徴収なし	42,500
〃　（高校）	25,500
〃　（特別支援学校）	17,000
〃　（栄養教諭）	17,000
保育士課程履修費	54,000
図書館司書課程履修費	16,000
学校図書館司書教諭課程履修費	8,500
博物館学芸員課程履修費	16,000
テキスタイルアドバイザー課程履修費	8,000
社会福祉士国家試験対策費	43,000
精神保健福祉士国家試験対策費	36,000
社会・精保福祉士国家試験対策費	59,500

上記課程履修費には学外実習費を含みます（テキスタイルアドバイザー課程履修費を除く）。
上記以外の模擬試験・各種講座等にかかる実費が必要な場合があります。

「こども性暴力防止法」が2026年12年25日に施行予定で、教職・保育士課程履修者は、同意書および誓約書の提出が求められます。また、特定性犯罪の前科が確認された場合、実習および諸活動を行うことができず、免許・資格の取得ができません。

学外･学内実習費等　（単位:円）

費　目	金　額
日本語教育実習費（国内）	11,000
健康・スポーツ実践実習費	12,800
「ソーシャルワーク実習Ⅰ」実習費	10,000
「ソーシャルワーク実習Ⅱ」実習費	50,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 両資格取得希望者	20,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 精神のみ取得希望者	32,000
「ソーシャルワーク実習Ⅳ」実習費	30,000
フィールドワーク実習費	12,000
テキスタイルアドバイザー実習費	8,000
「音楽療法実習Ⅱ」実習費	30,000
「音楽療法実習Ⅲ」実習費	30,000
「音楽療法実習Ⅳ」実習費	30,000
「音楽活用実習」実習費	20,000
公認心理師学外実習費	30,000
AT 実践実習実習費	8,000
コンディショニング指導演習Ⅰ実習費	5,500
調理学実習（生活環境学科３年）	9,500
メニュー企画・開発実習（食創造科学科３年）	8,000
スポーツ実技（ゴルフ）利用料	1,000

11. 英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「レギュラー・プログラム」

1990年、アメリカ北西部にあるワシントン州スポケーン市に本学のアメリカ分校を開校しました。英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は２年次前期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は１年次後期にそれぞれ全員参加の約４ヶ月間のアメリカ分校留学「レギュラー・プログラム」を実施します。この留学の目的は、英語の４技能（聞く・話す・読む・書く）とアメリカ社会・文化を学習し、国際語としての英語能力と国際感覚を備えた人材を養成することです。

そのため、次のような特色ある独自の留学プログラムを実施しています。

1．教員はすべてアメリカ人です。大学院で英語教授法に関する分野で修士号を取得した経験豊富な人達ばかりです。
2．英語力を養成する科目は１クラス12名程度、アメリカ文化などに関する講義は１クラス24名程度の少人数制をとっています。
3．留学中に米国主要都市などを訪れる旅行をカリキュラムの一環として位置付けています。事前に授業で学んだ知識を現地で実践的に確認し、アメリカ文化や歴史について理解をより一層深めます。
4．留学中は、キャンパス内で約４ヶ月間寮生活を送り、この寮生活を通して学生間の友情を深めます。また、社会人として必要な人との接し方や協調性・社会性などを学びます。
5．寮では、学生約10名につき１名ずつアメリカ人大学生がレジデント・アシスタント（RA）として寝食を共にし、RA たちとの生活を通して英会話やアメリカ的な考え方・行動を学ぶことができます。
6．食堂のスタッフは、日本や日本人をよく知っており食生活に困ることはありません。
7．スポケーン市民との交流も盛んで、ホームステイの他、現地の学校訪問や、コミュニティが主催する行事に参加するなど、アメリカでの生活を満喫することができます。
8．留学中に実施される1泊～ 2泊のホームステイでは、生きたアメリカの日常生活を体験することができます。
9．現地スタッフが24時間体制での安全対策を実施しています。
10. 日常生活を快適に安心して行えるよう、アドバイザーが常駐し、生活面の相談・指導を行っています。

1人あたりの留学費用内訳

【下記留学費用は2026年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】
アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

参加費

⑴	現地活動費	US$ 1,679	（フィールドワーク費用等現地課外活動諸費）
⑵	生　活　費	US$ 5,625	（食費・寮費・現地生活諸費）
	合　計	US$ 7,304	

※現地での授業料は、本校（西宮）で支払う授業料の１学期分をそのまま充当します。
※上記費用とは別に、渡航費（往復交通費、旅行保険等）および現地旅行費等が必要となります。
※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。
※参加費については、渡航前の基準日の為替レートを用いて円換算し、千円単位で決定します。
留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。
※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用し、なおかつ皆様の費用負担を軽減するために学院が補助をしているため、他大学と比較して低い価格設定になっています。
（参考）米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみで US$ 8,644程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみで US$ 8,330程度必要となっています。

英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「エクステンション・プログラム」

上記の「レギュラー・プログラム」に加えて、英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は２年次後期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は２年次前期にそれぞれ約４ヶ月間のアメリカ分校留学「エクステンション・プログラム」（参加自由）を実施しています。これは、「レギュラー・プログラム」で養った学力を一層向上させ、特に使える英語力の強化を図ることを目指したもので、留学の一環として米国国内での研修旅行や学外での積極的な文化交流も企画しています。

○文学部英語グローバル学科アメリカ分校留学エクステンション・プログラムに係る費用

【下記留学費用は2026年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】

アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

⑴	現地活動費	US$ 1,608（フィールドワーク費用等現地課外活動諸費）
⑵	生　活　費	US$ 5,625（食費・寮費・現地生活諸費）
	合　計	US$ 7,233

・その他留意事項

※現地での授業料は、本校（西宮）で支払う授業料の１学期分をそのまま充当します。

※上記費用とは別に、渡航費（往復交通費、旅行保険等）および現地旅行費等が必要となります。

※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。

※参加費については、渡航前の基準日の為替レートを用いて円換算し、千円単位で決定します。
留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。

※レギュラー・プログラムに参加した後、エクステンション・プログラムの参加者には、学院から10万円相当が、全員に一律に補助されます。
上記参加費から、学院一律補助の10万円相当を控除した額を、円建てで納入することとなります。

※前述の、一律補助とは別に、レギュラー・プログラムに参加した後、学科が設定したTOEIC®のスコアを取得した学生に対して10万円または20万円の奨学金が支給されます。

※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用し、なおかつ皆様の費用負担を軽減するために学院が補助をしているため、他大学と比較して低い価格設定になっています。

（参考）米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみでUS$ 8,644 程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみでUS$ 8,330 程度必要となっています。

12. アメリカ分校のための教育ローン制度

本学では、アメリカ分校留学を支援するための教育ローン制度があります。

13. 褒賞・奨学金制度

1．本学の褒賞・奨学金制度は以下のようなものがあります。主たる制度の一覧を掲載しております。いずれも立学の精神に基づいて人材の育成に役立てることを目的としています。

⑴褒賞制度

名　称	内　　容
公江特待生（こうえ）	本学院の創設者の公江喜市郎先生の篤志を基金として設立されたものです。各学部学科から推薦を受けた学術優秀で、本学の学生として真にふさわしい者が対象となり、学力・人物の総合的判断により、選考委員会において決定されます。褒賞状および褒賞金が授与されます。 選考の効力は１年間です。
大河原（おおかわら）学院長賞	体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を収めた個人及び団体又は世界レベルの大会に出場した個人に対し、褒賞が与えられます。褒賞は1年度につき１回限りとします。

⑵奨学金制度

▼学内奨学金

名　称	種類	目　的	出願資格	支給額
武庫川学院奨学	給付	立学の精神を顕揚して人材の育成に資するため、本学生に対し授業料の一部を給付して学業の達成を援助する	①本学入学後、家計急変※1により授業料の納入が困難になったと認められる者で、学業継続の意志のある者 ②授業料の納入が困難な者で、学業継続の意志のある者	①各自の納付する授業料の40％相当額（後期採用者は後期授業料の40%相当額） ②年額20万円
武庫川学院創立80周年記念特別奨学	給付	武庫川学院創立80周年を記念し、卒業生（鳴松会）をはじめ、教職員、各種団体、一般の方々の温かい寄付により、修学意欲があるにも関わらず、経済的理由により、学業の継続が困難な学生を支援する	入学後に武庫川学院奨学に採用された学生で、家計困窮でありながら学業継続の意志のある者	年額20万円
新１年生対象 自宅外通学応援奨学	給付	自宅外からの通学者に対して給付し、その経済的負担を軽減することで、学業の達成を援助する	・当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した者 ・日本学生支援機構の第一種奨学生に入学年度の8月までに採用された者（ただし給付型奨学金受給者は除く） ・日本学生支援機構が定める基準の遠隔地出身者で、入学年の4月から自宅外から通学している者	年額20万円 （入学年度限り）
卒業学年対象 貸与奨学金返還支援	給付	社会人になる卒業学年の学生に対し、貸与金返済の軽減を図るための支援金を給付し、社会での活躍を支援する	・当該年度に優秀な成績で卒業が見込まれる者 ・卒業学年において日本学生支援機構の第一種奨学金を受けている者（ただし給付型奨学金受給者は除く）	年額30万円を限度額とする （ただし、在学中の日本学生支援機構の第一種奨学金貸与総額を超えない金額とする）
武庫川学院鳴松会奨学	給付	鳴松会が本学卒業生として、本学に在籍する学生及び生徒に対し授業料の一部を給付して、学業の達成を援助する	授業料の支弁が困難であり、学業優秀・品行方正であると認められる者 （家計急変※1事情を重視）	年額20万円 （ただし、給付額は年度により変更することがあります）
薬学部薬学科貸与奨学金	貸与	学生の自立及び本学立学の精神を涵養することを目的として、経済的理由により修学困難な学生に対して援助を行う	薬学科4年生・5年生対象 ・学業成績優秀で次年度への進級が見込まれる者 ・経済的に修学が困難と認められる者	当該年度授業料年額／120万／100万／80万／50万 （無利子　返還の義務があります）
教育後援会奨学	貸与	経済的理由により学業の達成が困難であると認められる者に対し、授業料の一部を貸与して学業の達成を援助する	・当年度末に卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 ・卒業後の就職先が内定し、返済が見込まれる者	当該年度授業料1/2～1/5相当額 （無利子、返還の義務があります）

奨学制度の諸条件は変更になることがあります。詳細は各種奨学金の募集要項で確認してください。

※1　家計急変の内容は「主たる家計支持者の死亡・会社都合による解雇」等をさします。

2．公的育英奨学事業として、「日本学生支援機構奨学金」があり、奨学金制度には「第一種奨学金（返還時無利子）」、「第二種奨学金（返還時有利子）」、「給付型奨学金（原則返還不要）」があります。

また日本政策金融公庫の教育ローンの融資が受けられなかった家庭の学生は、入学時のみ特別増額貸与（有利子、10万、20万、30万、40万、50万円から選択）を受けることができます。

多くの学生が日本学生支援機構の奨学金を利用しています。

日本学生支援機構奨学金の種類と月額（2026年度）

種　類	学　年	月　額	
		自　宅	自宅外
第一種（無利子）	全学年	20,000円・30,000円・40,000円・54,000円から選択	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円から選択
第二種（有利子）	全学年	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円・140,000円[注1]から希望額を選択	
給付型[注2]	全学年	9,600円～42,500円	19,000円～75,800円

第一種奨学金は入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。
給付型奨学金は世帯の所得金額によって適用される支給月額が異なります。
注 1　薬学部のみ
注 2　高等学校等を初めて卒業（修了）した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が２年を経過していないこと。

3．上記の他に各府県・市の主催する奨学金制度および公益法人の奨学金制度があり活用されています。

14. 学寮

本学では、親元を離れて暮らす学生のために、６つの寮（内、ひとつは完全マンションタイプ）を設けています。以下に案内する６寮はいずれもキャンパスの近くにあり、異なった環境で育った学生が、規範性を学びながら有意義な共同生活を送っています。整備された設備・環境面のもと、さまざまな行事も用意されており、寮生は温かい家庭的雰囲気の中で安心した生活をしています。

１．学寮の概要（女性専用）

2026年４月現在

寮　名 ＼ 項　目	建物の構造	収容人数（人）	一室の広さ(㎡)	一室の人数（人）	食事提供（朝食・夕食）の有無
⑴貞和寮	鉄筋5階洋室	101	8.0	1	あり
⑵むつみ寮	鉄筋4階洋室	30	14.0	1	あり
⑶若草インターナショナルハウス	鉄筋4階洋室	39	10.0	1	なし
⑷甲子園口ハウス　【2人部屋2人利用】	鉄筋4階洋室	32	16.0	2	なし
【2人部屋1人利用】				1	
【1人部屋】	鉄筋4階洋室	2	14.0-15.0	1	
⑸笠屋インターナショナルハウス【3LDK3人利用】	鉄筋6階	30	9.8-11.9	3	なし
【3LDK2人利用】				2	
⑹武庫川女子大学西門前学生マンション	鉄筋6階洋室	20	18.27-22.55	1	なし

※各寮の詳細については、学生部ホームページ内
（『お住まいについて』→「学寮」または、「学寮のススメ」）にてご確認ください。
学寮は女子寮となります。(2026年４月時点)
男子学生については、武庫川学院100％出資会社である株式会社武庫女エンタープライズにてご相談ください。

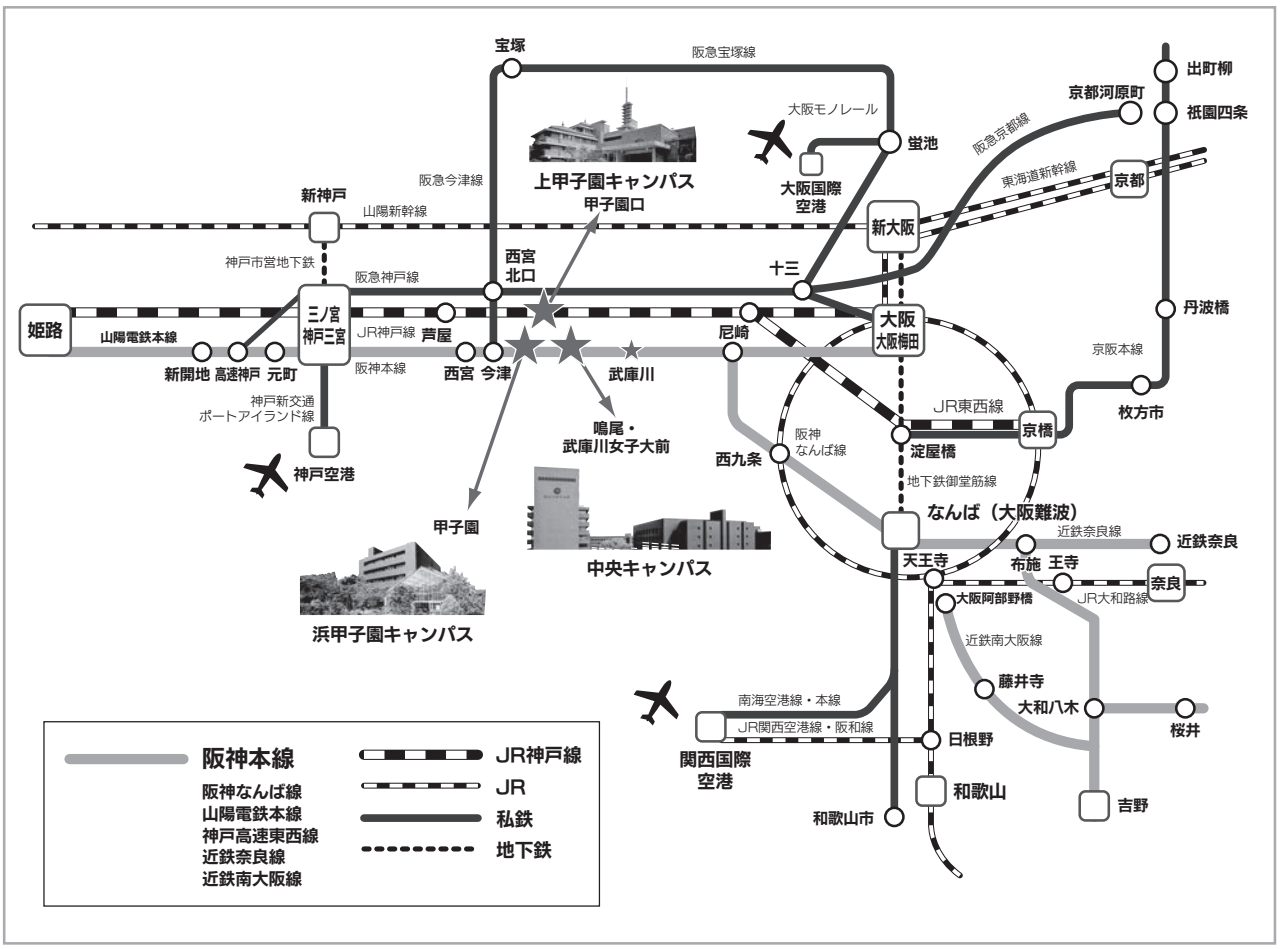
２．2026年度　入寮費・寮費について

（単位：円）

寮　名 ＼ 項　目		入寮費（入寮時）	寮費（月額）	初年度寮費合計
貞和寮		150,000	594,000（49,500）	744,000
むつみ寮		150,000	594,000（49,500）	744,000
若草インターナショナルハウス		150,000	504,000（42,000）	654,000
甲子園口ハウス	２人部屋２人利用	150,000	456,000（38,000）	606,000
	２人部屋１人利用		624,000（52,000）	774,000
	１人部屋１人利用		732,000（61,000）	882,000
笠屋インターナショナルハウス	３人部屋３人利用	家賃の1ヶ月分	492,000（41,000）	533,000
	２人部屋２人利用		738,000（61,500）	799,500
武庫川女子大学西門前学生マンション		100,000	月額36,000 ～ 49,500 (共益費4,000円含む)	部屋により異なる

・納入された入寮費・寮費は入寮辞退、途中退寮されても返還できません。
・入寮費・寮費は諸般の事情により、改定されることがあります。

交通アクセス



※下記のアクセス方法・所要時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。
※2027年４月より、武庫川女子大学から武庫川大学に名称変更します。

中央キャンパス

●武庫川大学（文学部、教育学部、心理・社会福祉学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、社会情報学部
食物栄養科学部、音楽学部、看護学部、経営学部）
●武庫川大学大学院（文学研究科、臨床教育学研究科、健康・スポーツ科学研究科、生活環境学研究科、食物栄養科学研究科、看護学研究科）
●武庫川大学専攻科

- 神戸方面から【阪神】 神戸三宮駅 ― 直通特急または快速急行16分 ― 西宮駅 ― 普通7分 ― 鳴尾・武庫川女子大前駅 ― 徒歩約7分 ― 中央キャンパス
- 大阪方面から【阪神】 大阪梅田駅 ― 直通特急9分 ― 尼崎駅 ― 普通7分 ― 鳴尾・武庫川女子大前駅 ― 徒歩約7分 ― 中央キャンパス
- 奈良・難波方面から【近鉄】 近鉄奈良駅 ― 快速急行40分 ― 大阪難波駅 ― 快速急行17分（阪神なんば線経由） ― 尼崎駅 ― 普通7分 ― 鳴尾・武庫川女子大前駅 ― 徒歩約7分 ― 中央キャンパス

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

浜甲子園キャンパス

●武庫川大学（薬学部・環境共生学部）
●武庫川大学大学院（薬学研究科）

- 神戸方面から【阪神】 神戸三宮駅 ― 直通特急または快速急行19分 ― 甲子園駅 ― 徒歩約15分 ― 浜甲子園キャンパス
- 大阪方面から【阪神】 大阪梅田駅 ― 直通特急15分 ― 甲子園駅 ― 阪神バス 約2分（浜甲子園団地行き） ― 武庫川女子大薬学部前 ― 浜甲子園キャンパス
- 奈良・難波方面から【近鉄】 近鉄奈良駅 ― 大阪難波駅 ― 快速急行40分 ― 快速急行26分（阪神なんば線経由） ― 甲子園駅 ― 徒歩約15分 ― 浜甲子園キャンパス

〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町11-68

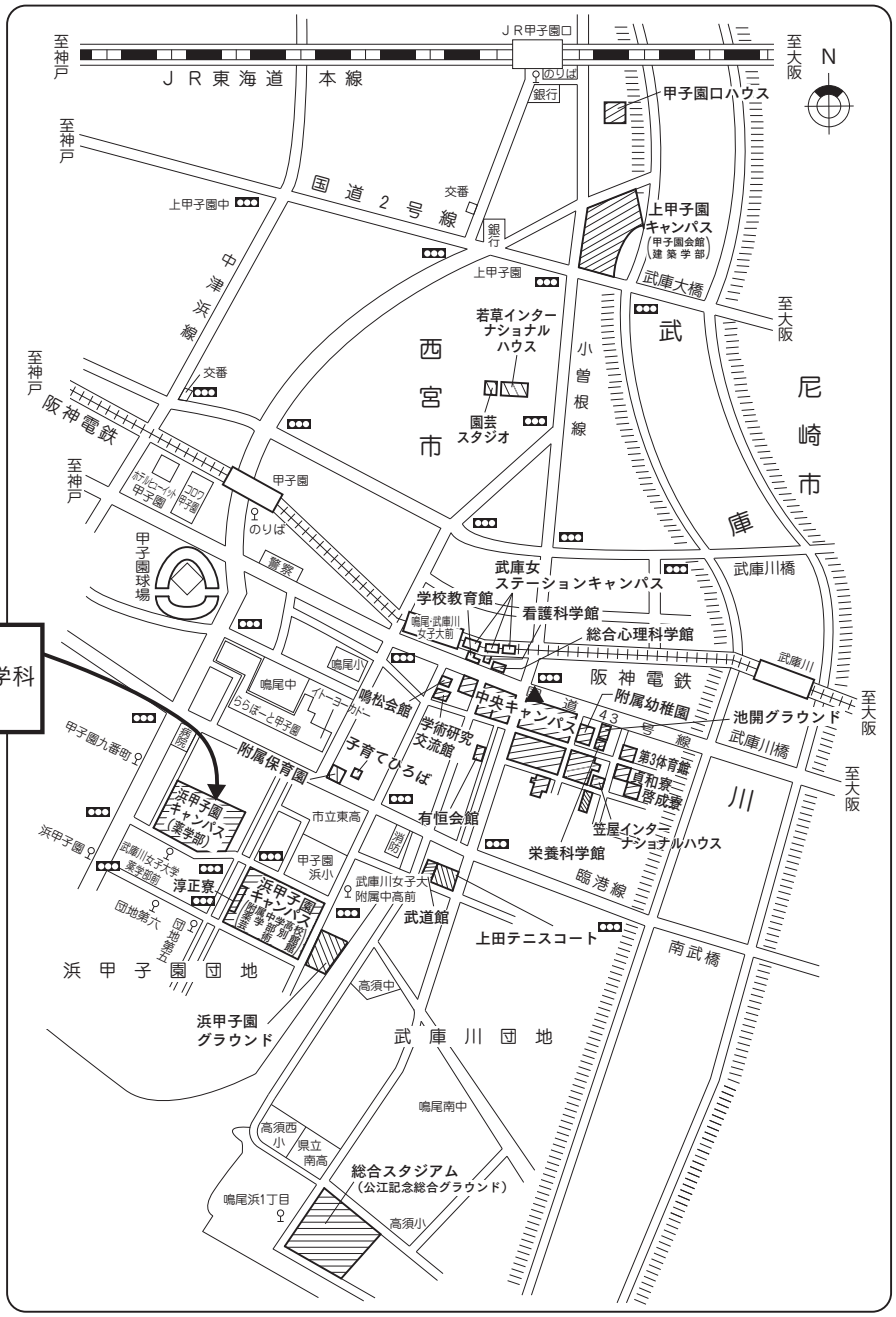
上甲子園キャンパス

●武庫川大学（建築学部）
●武庫川大学大学院（建築学研究科）

- 神戸方面から JR三ノ宮駅 ― 新快速9分 ― 芦屋駅 ― 普通7分 ― 甲子園口駅 ― 徒歩約10分 ― 上甲子園キャンパス
- 大阪方面から JR大阪駅 ― 普通13分 ― 甲子園口駅 ― 徒歩約10分 ― 上甲子園キャンパス

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町1-13

◇　試験場案内図



※実施学科のみ記載

浜甲子園キャンパス

薬学科
健康生命薬科学科
環境共生学科

最寄駅

阪神電車「甲子園駅」から徒歩約15分

中央キャンパス

日本語日本文学科
歴史文化学科
英語グローバル学科〔英語文化専攻〕
英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕
教育学科
心理学科
社会福祉学科
健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科
生活環境学科
社会情報学科〔社会・メディア専攻〕
社会情報学科〔コンピュータ・AI専攻〕
食物栄養学科
食創造科学科
演奏学科
応用音楽学科
経営学科

最寄駅

阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前駅」から徒歩約7分

武庫川大学のアドミッション・ポリシー

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
日本語日本文学科	武庫川大学文学部日本語日本文学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、日本語日本文学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等で現代文、古文を十分に学び、外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系とも幅広く学習して基礎的な学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 本学科での学修を通して得た専門的知識と読解力、思考力・判断力、表現力を活かして、高いコミュニケーション能力を有する職業人としてさまざまな分野で活躍し、社会に貢献しようという意志を持っている。
歴史文化学科	武庫川大学文学部歴史文化学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、歴史文化学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等で日本史、地理分野を十分に学び、外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系分野も幅広く学習して基礎的な学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 社会の諸課題に対して自分の意見を持ち、主体的に活動する姿勢・態度を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 本学科で得た専門的能力を、豊かな感性をもとに公平な視点を持って多様な人々と協働するために活かすことへの意欲を有している。
英語グローバル学科	武庫川大学文学部英語グローバル学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、英語グローバル学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 大学入学までに学んだ英語をはじめ、その他の教科の知識を活用することができる。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 英語を使って、地域ならびに国際社会の発展に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と広い視野を持ち、多様な人々と共に学び成長したいという熱意を有している。
教育学科	武庫川大学教育学部教育学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、教育学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科ほかの学びを基盤としつつ、様々な知識を活用する力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 教師や保育者として子どものすこやかな成長・発達に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
心理学科	武庫川大学心理･社会福祉学部心理学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ･ポリシー（卒業認定･学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、心理学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 文系・理系という狭い枠にとらわれず、高等学校等での各教科をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えている。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 人を支援することに高いモチベーションを有し、心理的支援を行う専門職や、心理学の知識を活かした職業を目指すことや、これらに必要な資質や能力を高めることによって、社会の一員としての自覚を持ち、人びとの幸福に貢献しようとする意欲を有している。
社会福祉学科	武庫川大学心理・社会福祉学部社会福祉学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、社会福祉学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 より良い社会の実現に向けた社会を希求するため、社会福祉学に関する知識を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 自己の内省に努め、誠実な姿勢で人間理解に努める力を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 課題を自ら発見し、積極的で前向きな行動力を有している。
健康・スポーツ科学科	武庫川大学健康･スポーツ科学部健康･スポーツ科学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ･ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、健康・スポーツ科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科等の学びや健康・スポーツに関する経験知を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 健康・スポーツ科学分野のリーダーとして、子どもの健やかな成長・発達と、全ての人々の生活の質の向上に貢献したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と高い倫理観を持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度を有している。
スポーツマネジメント学科	武庫川大学健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、スポーツ科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 高等学校等での各教科等の学びや健康・スポーツに関する経験知を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 スポーツマネジメントの分野において、全ての人々にスポーツの持つ多様な価値を伝えたいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と高い倫理観を持ち、多様な人々と協同して主体的に学ぶ態度を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
生活環境学科	武庫川大学生活環境学部生活環境学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、生活環境学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 身の回りにあり生活を形づくるものごとを、連続した生活環境として捉え、広い視野を持って学ぶための思考力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 生活環境に関して、文化的・社会的・科学的・工学的・造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を習得しようとする姿勢を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 生活環境を構成する事象に対し、定量的・論理的・創造的なアプローチから学び、生活環境における課題を発見・分析し、その解決策・改善策を提案し、社会に還元しようとする意欲を有している。
社会情報学科	武庫川大学社会情報学部社会情報学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、社会情報学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 メディアやコンピュータ、AI に関心を持ち、自己実現や社会貢献への意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。
食物栄養学科	武庫川大学食物栄養科学部食物栄養学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、食物栄養学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学の基礎知識を十分に学習し、高等学校等において幅広い教科・科目を履修して確かな基礎知識を備えている。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 高いモチベーションを有し、高度な問題解決能力および実践的能力を身につけた管理栄養士となって、生活習慣病等の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 高いコミュニケーション能力を有し、チームのリーダー的管理栄養士となって、生活習慣病等の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようという意志を持っている。
食創造科学科	武庫川大学食物栄養科学部食創造科学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、食創造科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学の基礎知識に加え、高等学校等で学習する幅広い基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 高度な問題解決能力と実践的能力を身につけた「食の専門家」として、食産業界の発展に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 豊かな発想と高いコミュニケーション能力を活かして、新しい食を創造し、人々の豊かで健康的な食生活に貢献しようという意志を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
建築学科	武庫川大学建築学部建築学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、建築学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学はもとより、人文科学、社会科学も幅広く学習し、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 グローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた建築設計技術者を目指す意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、世界水準の建築教育を通して培うことへの意欲を有している。
景観建築学科	武庫川大学建築学部景観建築学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、景観建築学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 自然科学はもとより、人文科学、社会科学も幅広く学習し、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を目指す意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことへの意欲を有している。
演奏学科	武庫川大学音楽学部演奏学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、音楽に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 幅広い教養と音楽に関する基礎知識および専門実技の基礎技術を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 芸術を深く愛する心と柔軟な感性を持ち、高度な専門的教養と表現技術の習得に向けて研鑽を積む積極性を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 人に感銘を与える表現について自ら考え高い芸術性を希求し、国際感覚を身につける意欲を有している。
応用音楽学科	武庫川大学音楽学部応用音楽学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、音楽に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 音楽に関する基本的な知識と演奏技術を備え、高等学校等での各教科等における基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 音楽と人間に関わる幅広い領域に興味関心を持ち、音楽を通して社会に寄与したいという熱意を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 多様な人々と協同して学ぶ態度を備え、本学科での学修を通して得た知識や技能を活かした職業に就き、それぞれの分野において活躍し、社会に貢献したいという意志を持っている。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
薬学科	武庫川大学薬学部薬学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、薬学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 上記の学力として、医薬品や病態・薬物治療の理解を助ける化学または生物の学力を重視するが、数学、国語、英語の基礎学力も修得していることが望ましい。 患者・生活者心理の理解の基本となる幅広い教養を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 将来、薬の専門家として、医療の発展に貢献したいという意欲を有している。 医療人としての倫理観、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育くんで、健康・福祉に携わる者として社会貢献したいという意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さを有している。 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけようとする意欲を有している。
	入学者選抜の基本方針	
	未来教育総合型選抜　提出書類、課題レポート、面接などにより主体性、薬学への意欲などの「姿勢」と協同性、思考力、表現力などの「行動」を評価します。 公募制推薦入試　個別の基礎学力検査（化学 or 生物（選択必須）および国語、英語、数学(1)、数学(2)から選択）の成績により「知識」を評価し、調査書、志望理由書から薬学への意欲などの「姿勢」とこれまでの学修・活動履歴などの「行動」を評価します。また、英語外部検定利用型では英語の学力を特に評価します。 一般選抜　個別学力検査（化学 or 生物（選択必須）および国語、英語、数学(1)、数学(2)から選択）または大学入学共通テスト（化学 or 生物（選択必須）および物理、英語、数学(1)、数学(2)から選択）の成績により「知識」を評価します。また、英語外部検定利用型では英語の学力を特に評価します。 指定校推薦入試　出身高校からの推薦書、調査書、志望理由書、面接などにより、薬学への意欲などの「姿勢」とこれまでの学修・活動履歴などの「行動」を評価します。	
健康生命薬科学科	武庫川大学薬学部健康生命薬科学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、薬科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 科学的な思考力をもって問題解決に取り組む能力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 主体性と協調性をもって研究に取り組み、研究成果を通して社会に貢献したいという意志がある。研究者や医療人として必要な知識や技能を修得するための積極的な学修姿勢を有している。中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという意志。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 能動的な学習態度を身につけており、自己研鑽を継続できる。他者の価値観を尊重し、良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力と表現力を有している。

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学科	入学者受入れ方針	
環境共生学科	武庫川大学環境共生学部環境共生学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、環境共生学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 具体的には自然科学に基づく生物学や化学などの理解力、様々な事象を定量的、確率的に表す数学的能力、国語や英語によるコミュニケーションおよび論理的思考の基本となる能力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦する姿勢を有している。 異なる学問分野の考え方を組み合わせるなどの柔軟な思考力や、自身の興味がある分野の高い専門性と技術を身につけて、自然環境の利用や保全に関する計画・デザインを行うことで、持続可能な社会の構築に貢献しようとする意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 社会が抱える環境問題などの課題に目を向け、課題解決のための実践的な活動に取り組もうとする意欲を有している。
看護学科	武庫川大学看護学部看護学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、看護学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。 論理的思考力を身に付けるために必要な読解力および知識を活用する力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。 看護の実践家として社会に貢献する意欲を有している。 自ら進んで学習を続ける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。 多様な人々の気持ちや考え方を尊重し、コミュニケーションを行うことへの意欲を有している。
経営学科	武庫川大学経営学部経営学科では、「MUKOGAWA COMPASS」に基づいたディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する入学者を受入れます。	
	知識	社会を理解し、経営学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。
	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。

武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

武庫川大学
MUKOGAWA UNIVERSITY

◎　入試については武庫川女子大学アドミッションセンターにお問い合わせください。

受験生専用直通ダイヤル	（0798）45−3500
メールアドレス	nyuss@mukogawa-u.ac.jp
インターネットホームページ	https://www.mukogawa-u.ac.jp/

武庫川女子大学は2027年４月より武庫川大学に名称変更

中　央　キ　ャ　ン　パ　ス　〒663－8558　兵庫県西宮市池開町6−46
浜甲子園キャンパス（薬学部・環境共生学部）　〒663－8179　兵庫県西宮市甲子園九番町11−68